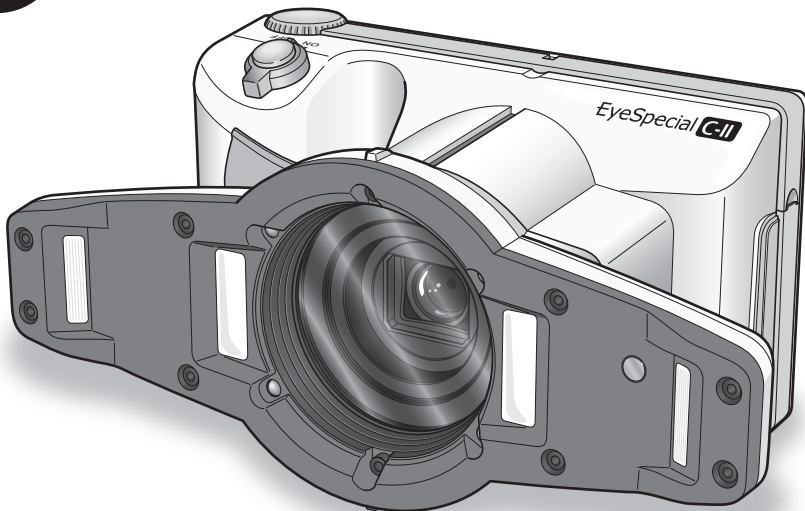




安全にお使いいただくために、取扱説明書
をよくお読みください。



デジタル口腔撮影装置

EyeSpecial **C-II**

アイスペシャルC-II

取扱説明書 - 詳細編 -

SHOFU INC.

はじめに

このたびは、デジタル口腔撮影装置「アイススペシャルC-II」をご購入いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は「アイススペシャルC-II」の正しい取り扱い方と、日常の点検および注意について説明しています。

本器の性能を十分に発揮させ、また常に良好な状態を保っていただくために、ご使用になる前には本書をよくお読みいただき、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

なお、本書はお読みになった後も、ご使用になる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

用 途

本器は歯科全般の写真撮影にご使用いただけます。

お願い

安全上のご注意について

- 安全に正しくお使いいただくために、操作の前に別紙「はじめにお読みください」を必ずお読みください。

本書について

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部、製品と合致しない箇所の生じることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成しておりますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡をいただきますようお願い申し上げます。
- 乱丁、落丁の場合はお取り替えいたします。最寄りの弊社販売店までご連絡ください。

テスト撮影について

- 診察などで実際にご使用になる前に、必ずテスト撮影をして、本器が正常に作動し画像が記録されていることを確認してください。

バックアップについて

- SDカードなどの記録メディアは、落下による衝撃や強い静電気などによって破損し、データの記録や再生ができなくなることがあります。大切なデータを失わないよう、撮影したデータはパソコンのハードディスクやDVD-ROMなど、他の複数の記録メディアに定期的にバックアップを取ってください。

著作権について

- 本器で撮影したものを営利目的、または公衆に視聴することを目的として公開することは、著作権法上で保護されている権利者の権利を侵害するおそれがありますので、十分にご注意ください。
- 撮影したものは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

個人情報・プライバシーの保護について

- 本器で撮影された本人を判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当することがあります。法律に従って、情報を適切にお取り扱いください。

免責について

- 本器で撮影した画像により、プライバシー侵害などが発生しても、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本器の本体トラブルについては保証の範囲に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップや撮影機会を逃したために生じた損害など、副次的トラブルについては、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

廃棄について

- 本器を廃棄するときは、それぞれの地域の法律・規制に従って処理してください。

本器に関する最新情報（取扱説明書を含む）は、当社ホームページ (<http://www.shofu.co.jp/eyespecial/>) をご参照ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

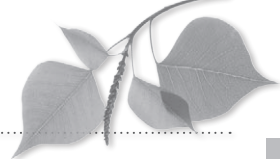
SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

もくじ

はじめに.....	ii		
用 途.....	ii		
お願い.....	ii		
1 準備する.....	1	3 応用撮影.....	33
各部の名称.....	1	オートトリミング機能を使用しない撮影方法.....	33
本体.....	1	撮影方法.....	34
カメラ前面.....	1	撮影倍率を選ぶ.....	34
カメラ底面.....	2	撮影距離を合わせる.....	34
カメラ背面・側面.....	2	撮影する.....	36
ファンクションキーの操作について.....	3	マニュアルフォーカスによる撮影方法.....	37
液晶モニターの表示.....	4	マニュアルフォーカスの設定方法.....	37
撮影モード時.....	4	撮影方法.....	38
再生モード時.....	6	撮影倍率を選ぶ.....	38
メニューなどの操作方法.....	7	撮影距離を合わせる.....	38
タッチで操作する.....	7	撮影する.....	39
キーで操作する.....	7	通常のカメラのように焦点距離を指定する撮影方法.....	40
撮影の準備をする.....	8	撮影方法.....	41
ストラップを取り付ける.....	8	焦点距離を選ぶ.....	41
レンズキャップのひもを取り付ける (任意).....	9	撮影距離を合わせる.....	41
電池を取り付ける.....	10	撮影する.....	42
SDカードを取り付ける.....	11		
SDカードの取り出し方.....	11	4 撮影のコツ.....	43
レンズキャップを取り外す.....	12	カメラの構え方のコツ.....	43
電源をONにする.....	13	シャッター操作のコツ.....	43
初めて電源をONにしたとき.....	13	構図を安定させるコツ.....	44
		操作のコツ.....	44
2 基本.....	16	ピントがうまく合わないときの原因と対処.....	44
はじめに.....	16	画面の中央以外にピントを合わせる.....	45
撮影の流れ.....	16	フォーカスロックで撮影する.....	46
患者情報を登録または撮影する (任意).....	17	明るさを微調整する.....	47
テンキーでIDを入力する.....	17	片側だけのフラッシュを発光させて撮影する.....	47
QRコードから読み取る.....	18	顔貌モードでの撮影距離について.....	48
カルテから患者の氏名を撮影する.....	19	顔貌モード撮影時の影について.....	49
患者情報を確認する・消去する.....	19	模型や補綴物撮影のときに影を やわらかくしたいときのコツ.....	50
撮影モードを選ぶ.....	20		
あらかじめ用意されたモードから選ぶ.....	20	5 再生.....	52
カスタムモードから選ぶ.....	22	画像を再生する.....	52
QRコードから設定を読み込む.....	23	撮影した画像を再生する.....	52
撮影倍率を選ぶ.....	25	再生中の画像を切り替える.....	52
撮影距離を合わせる.....	26	拡大・縮小する.....	53
撮影する.....	28	インデックス画面 (一覧) で見る.....	53
ピントを合わせて撮影する.....	28	画像を消去する.....	54
撮影モードごとの特別な機能について.....	31	再生中の画像を消去する.....	54
		インデックス画面から画像を消去する.....	54
		●この画像を消去.....	54
		●画像を指定して消去.....	54
		●全ての画像を消去.....	55
		画像を編集する.....	55
		画像に線を描く (ペイント機能).....	55
		画像を回転する.....	56
		画像をプロテクトする.....	57
		再生中の画像をプロテクトする.....	57
		インデックス画面からプロテクトする.....	57

6 撮影した画像をパソコンに取り込むには.....	59
7 各種メニューについて.....	60
撮影モードメニューについて	60
タブ1	61
タブ2	63
タブ3	66
タブ4	68
撮影モードメニューのショートカット操作 について.....	71
再生モードメニューについて	72
セットアップメニューについて	72
タブ1	74
タブ2	77
タブ3	79
タブ4	81
タブ5	83
8 取り扱い上の注意.....	86
使用温度について	86
SDカードなどの記録メディアについて	86
液晶モニター（タッチパネル機能付き）について	87
画像の変化について	87
防水・耐薬品性について	87
耐用期間について	87
その他	87
9 お手入れと保管の仕方.....	88
お手入れの仕方.....	88
保管の仕方	88
10 Q&A（トラブルシューティング）.....	89
トラブル.....	89
メッセージ表示	89
よくあるご質問	90
11 仕様.....	91
12 付属品	93
13 保証について.....	93

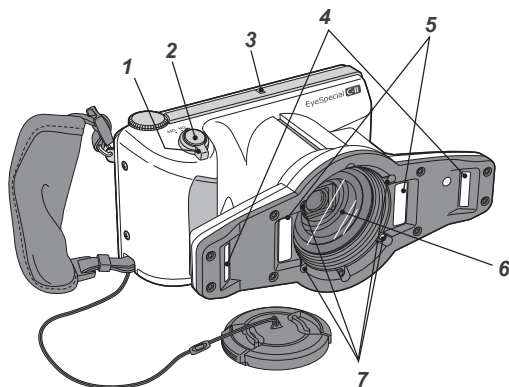
1 準備する



各部の名称

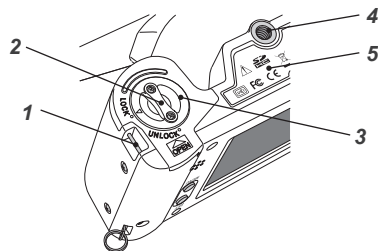
本体

カメラ前面



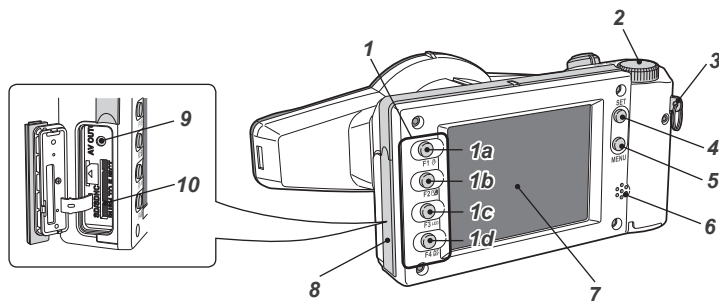
No.	名称	説明												
1	電源スイッチ	カメラの電源をON/OFFします。												
2	シャッターボタン	シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まる所があります。そこまで押すことを「半押し」と呼びます。シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせが開始されます。半押しの状態からさらにシャッターボタンを押し込むと、撮影が行われます。												
3	パイロットランプ	点灯色と点滅で、カメラの状態を表示します。 <table><tr><th>ランプの動作</th><th>カメラの状態</th></tr><tr><td>緑点灯</td><td>カメラは正常に起動しています。</td></tr><tr><td>緑点滅</td><td>カメラがパワーセーブ状態になっています。</td></tr><tr><td>オレンジ点灯</td><td>SDカードにアクセスしています。 点灯中は、絶対にSDカードを取り外さないでください。</td></tr><tr><td>オレンジ点滅</td><td>起動時や動作中にカメラ異常を検知しました。</td></tr><tr><td>赤点灯</td><td>レンズエラーを検知しました。</td></tr></table>	ランプの動作	カメラの状態	緑点灯	カメラは正常に起動しています。	緑点滅	カメラがパワーセーブ状態になっています。	オレンジ点灯	SDカードにアクセスしています。 点灯中は、絶対にSDカードを取り外さないでください。	オレンジ点滅	起動時や動作中にカメラ異常を検知しました。	赤点灯	レンズエラーを検知しました。
ランプの動作	カメラの状態													
緑点灯	カメラは正常に起動しています。													
緑点滅	カメラがパワーセーブ状態になっています。													
オレンジ点灯	SDカードにアクセスしています。 点灯中は、絶対にSDカードを取り外さないでください。													
オレンジ点滅	起動時や動作中にカメラ異常を検知しました。													
赤点灯	レンズエラーを検知しました。													
4	外側フラッシュ発光部	低反射、ホワイトニング、テレマクロ、シェード抽出モードで発光します。フラッシュモードを変更することで、片側発光に切り替えることができます。												
5	内側フラッシュ発光部	標準、オベ、ミラー、顔貌モードで発光します。フラッシュモードを変更することで、片側発光に切り替えることができます(オベ、顔貌モードは両側発光のみ)。												
6	レンズ	—												
7	LED照明	被写体を照明することで、暗い部分にもピントを合いやすくします。シャッターボタンを半押しすると点灯を開始し、シャッターボタンから指を離してからも10秒間点灯します。また、撮影時にはシャッターが切れる直前に消灯します。												

カメラ底面



No.	名称	説明
1	ストラップ取付部(下)	ストラップを取り付けるための金具です。
2	ロックレバー	電池カバーをロックするためのレバーです。
3	電池カバー	電池室のカバーです。内部に電池が格納されています。
4	三脚ねじ	三脚を固定するためのねじです。
5	銘板	製造番号などが記載された銘板です。

カメラ背面・側面



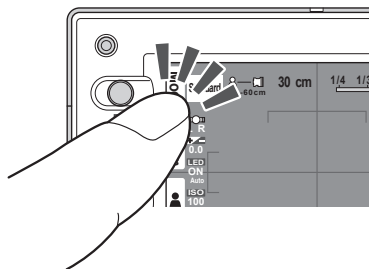
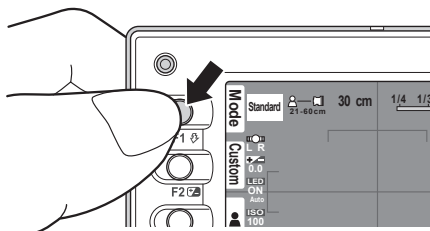
No.	名称	説明
1	ファンクションキー 1a : F1 キー 1b : F2 キー 1c : F3 キー 1d : F4 キー	ファンクションキーの機能は操作中の状態によって変化します。機能は、液晶画面に表示されます。
2	ダイヤルキー	撮影倍率の変更、再生画像のコマ送りや、メニュー画面で選択項目の移動などが行えます。
3	ストラップ取付部(上)	ストラップを取り付けるための金具です。

No.	名称	説明	
		カメラの状態	動作
4	SET キー	撮影モード	短押し：プレビュー拡大倍率の変更 長押し：情報表示の有無の切り替え
		再生モード (等倍表示)	短押し：患者情報の表示 長押し：情報表示の有無の切り替え
		再生モード (インデックス表示)	短押し：画像の選択 長押し：なし
		メニュー画面	短押し：選択項目の決定 長押し：なし
5	MENUキー	メニュー画面を表示させるときに押します。	
6	スピーカー	キー操作音やシャッター音などが出力されます。	
7	液晶モニター (タッチパネル機能付き)	撮影画像やメニューなどを表示します。画面のボタンをタッチすることで操作することもできます。	
8	カードスロット／ビデオ出力端子カバー	内部にSDカードスロットとビデオ出力端子が格納されています。	
9	ビデオ出力端子	コンポジット端子を有するテレビや液晶プロジェクタなどに液晶モニターと同じ映像を映すことができます。デジタル端子しか装備していない機器では使用できません。	
10	SDカードスロット	SD/SDHC カードを挿入するスロットです。	

ファンクションキーの操作について

F1 ～ F4 の各キーはファンクションキーです。選択しているモードによって機能が変わり、使用できる機能は液晶モニターの左端にタブ表示されます。キー本体、モニター上のタブ表示のどちらを押しても操作できます。

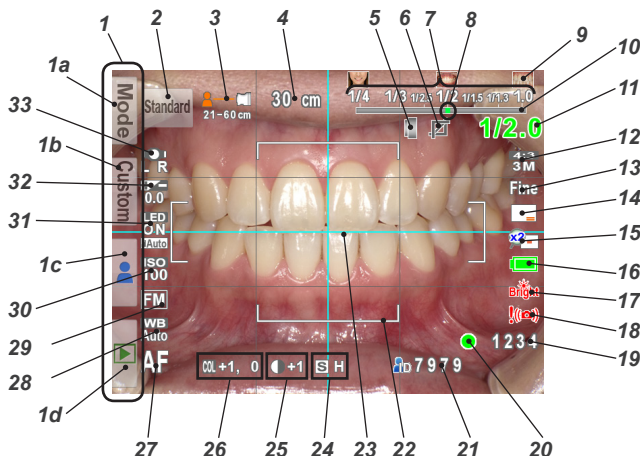
本書では、ファンクションキーの操作を「**Mode** (F1 キー) を押す」のように記載しています。この例では、「F1 キーを押す」または「モニター上の **Mode** 表示をタッチする」のどちらでも、モード選択画面を表示する操作になります。



液晶モニターの表示

撮影モードおよび再生モードで、液晶モニターに表示される情報は以下のとおりです。

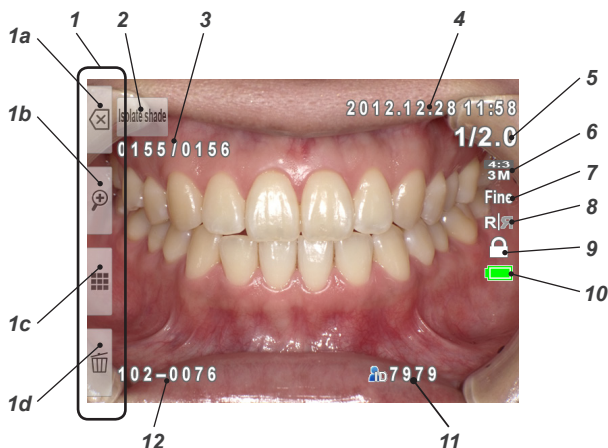
撮影モード時



No.	名称	説明	参照先
1	ファンクションタブ	ファンクションキーの機能は操作中の状態によって変化します。機能は、液晶画面のファンクションタブに表示されます。	
	1a：モード選択	モード選択画面を表示します。	P.20
	1b：カスタムモード選択	カスタムモード選択画面を表示します。	P.22
	1c：患者情報編集	患者情報編集メニューを表示します。	P.17
	1d：再生モードへ	再生モードへ移動します。	P.52
2	現在の撮影モード	現在選択中の撮影モードを表示します。	P.20
3	撮影可能な距離の範囲	現在の撮影倍率で撮影可能な距離の範囲（ピントが合う範囲）を表示します。	P.26
4	[AF 前] 最適な撮影距離 [AF 後] 実際の撮影距離	[AF 前] 現在の撮影倍率で最適な被写体との距離を表示します。 [AF 後] ピントが合った位置までの実際の距離を表示します。また、文字色の変化で次の状態を表示します。 緑：撮影可能な距離の範囲内 赤：撮影可能な距離の範囲外	P.26 P.28
5	クローズアップレンズ装着指示マーク	クローズアップレンズを装着する必要があるときに表示されます。	P.32
6	オートトリミング	オートトリミング機能が有効になっているときに表示されます。AF後の色の変化で次の状態を示します。 緑：オートトリミングが可能 赤：オートトリミングが不可	P.28
7	選択可能な撮影倍率	現在の撮影モードで選択可能な撮影倍率を表示します。	P.26

No.	名称	説明	参照先
8	選択中の撮影倍率	選択されている撮影倍率を表示します。	P.25
9	被写体の大きさの目安	表示された撮影倍率でおよそどのくらいの大きさの被写体が撮影可能かを表示しています。	P.25
10	ゲージ	撮影倍率を選択するゲージです。	P.25
11	実際に撮影される倍率 (AF後のみ表示)	実際に撮影される倍率を表示します。文字色の変化で次の状態を示しています。 緑：選択した倍率で撮影可能 赤：選択した倍率で撮影不可	P.28
12	画像サイズ	撮影される画像の縦横比とサイズを表示します。	P.74
13	画質	撮影される画像の画質を表示します。	P.74
14	写し込み	写し込みが「あり」に設定されているときに表示されます。	P.75
15	プレビュー拡大中	プレビュー画面が拡大されているときに表示されます。  ：画面の中央部を2倍に拡大しているときに表示されます。  ：画面の中央部を4倍に拡大しているときに表示されます。	P.35
16	電池残量	電池残量が表示されます。	
17	被写体明るさ警告	液晶画面内に映った被写体の明るさが撮影に適さないときに表示されます。  Bright ：被写体が明るすぎるときに表示されます。 (ホワイトニングモードのみ)  Dark ：被写体が暗すぎるときに表示されます。 (顔貌、テレマクロモードのみ)	
18	手振れ警告	手振れするおそれがあるときに表示されます。カメラをしっかりと構えて、手振れに注意して撮影してください。	
19	撮影可能枚数	現在の画像サイズと画質の設定で撮影を続けた場合に、あと何枚撮影できるかを表示します。「0000」が表示されたときは、カードがいっぱいでこれ以上撮影できない状態です。	P.12
20	ピントサイン	シャッターボタンを半押ししてオートフォーカスでピント合わせをしたときに、ピントが合っているかどうかを表示します。  (緑)：ピントが合っています  (赤)：ピントが合っていません	P.28
21	患者ID情報	患者情報が登録されている場合に、ID番号を表示します。	P.17～19
22	AFフレーム	オートフォーカスでピントを合わせるときにカメラがピントを判定するエリアを表示します。	P.29
23	フォーカシングスクリーン	構図合わせのために画面に表示される格子です。	P.64
24	シャープネス	撮影される画像のシャープネスの設定を表示します。 ※デフォルト設定の場合は表示されません。	P.67
25	コントラスト	撮影される画像のコントラストの設定を表示します。 ※デフォルト設定の場合は表示されません。	P.67
26	色合い	撮影される画像の色合いの設定を表示します。 ※デフォルト設定の場合は表示されません。	P.67
27	フォーカスモード	フォーカスモードの状態を表示します。	P.62
28	ホワイトバランス	ホワイトバランスの状態を表示します。	P.66
29	AEモード	AEモードの状態を表示します。	P.65
30	ISO感度	ISO感度の状態を表示します。	P.65
31	LED照明	LED照明のON/OFFの状態や強度を表示します。	P.61
32	明るさ補正	明るさ補正の状態を表示します。	P.61
33	フラッシュモード	フラッシュモードの状態を表示します。	P.61

再生モード時



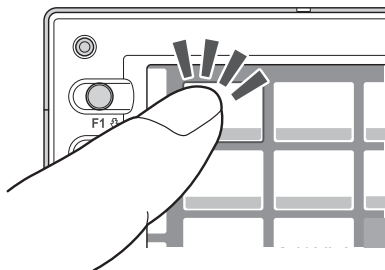
No.	名称	説明	参照先
1	ファンクションタブ	ファンクションキーの機能は操作中の状態によって変化します。 機能は、液晶画面のファンクションタブに表示されます。	
	1a 撮影モードへ	撮影モードへ移動します。	P.28
	1b 拡大再生	再生中の画像を拡大表示します。	P.53
	1c インデックス再生	インデックス画面を表示します。	P.53
	1d 画像の消去	画像の消去メニューを表示します。	P.54
2	撮影したモード	撮影した際に選択した撮影モードを表示します。	P.21
3	画像番号 / 全体の画像数	現在表示されている画像の順番と、全体の画像数を表示します。	
4	撮影日時	撮影日時を表示します。	
5	撮影倍率	実際に撮影された倍率を表示します。	P.25
6	画像サイズ	撮影された画像の縦横比とサイズを表示します。	P.74
7	画質	撮影された画像の画質を表示します。	P.74
8	ミラー反転前後マーク	ミラー反転処理を行なった画像について、オリジナル画像か反転処理後の画像であるかを表示します。 R/L ：反転前のオリジナル画像です。 R/L ：ミラー反転処理後の画像です。 ※ミラー反転前のオリジナル画像を保存するには、セットアップメニューの「ミラー反転前の画像保存」をONに設定する必要があります。	
9	プロテクト	このアイコンが表示されている画像データは、誤消去・誤編集防止のためにロックされています。	P.57
10	電池残量	電池残量を表示します。	
11	患者ID情報	撮影時に患者情報が登録されていた場合に、患者ID番号を表示します。	P.17～19
12	フォルダ番号-ファイル番号	撮影された画像データが保存されているフォルダのフォルダ番号と、画像データのファイル番号を表示します。	P.80

メニューなどの操作方法

液晶モニターに表示される項目を操作するには、次の2つの方法があります。

タッチで操作する

選択する項目をタッチしてください。



ワンポイント

●本器のタッチパネルについて

本器のタッチパネルは、手袋をした手やスティラスでも操作できます。指の腹ではなく指先や爪などで押し込むように触ると、確実に反応します。ただし、マルチタッチやスワイプ操作には対応しておりません。

キーで操作する

各メニュー画面などでは、▲ (F2キー)、▼ (F3キー) を押す、または (ダイヤルキー) を回して項目を選び、SET (SETキー) を押して確定することもできます。

ファンクションキー (F1キー～F4キー) については、「ファンクションキーの操作について」(P.3) を参照してください。

撮影の準備をする

撮影の前に必要な準備について説明します。

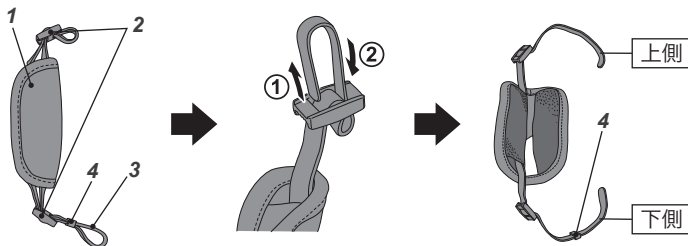
ストラップを取り付ける

ストラップを本体のストラップ取付金具およびストラップ取付部に取り付けてください。

⚠ 注意

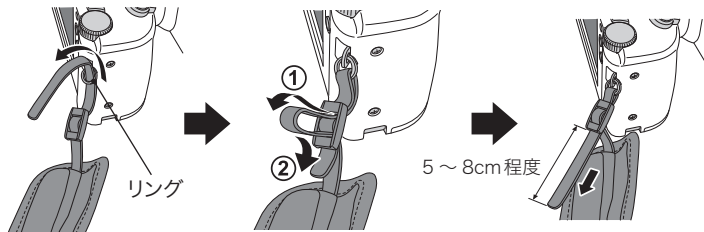
- ストラップを取り付けずに使用すると、本器が落下してけがをするおそれがあります。必ず取り付けてご使用ください。

- 1** ベルトを2カ所のアジャスタから抜き、フラップを開いてください。

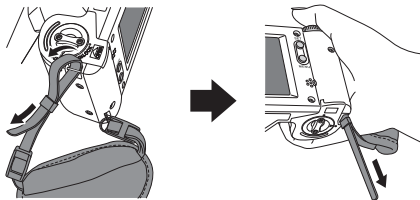


No.	名称	No.	名称
1	フラップ	3	ベルト
2	アジャスタ	4	ベルト止め

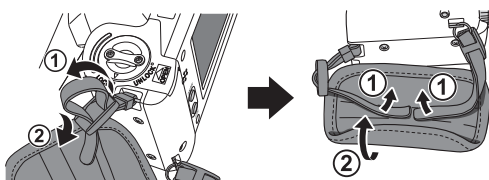
- 2** 上側のベルトをストラップ取付部 (上) のリングに通して長さを調整してください。



- 3 下側のベルトをストラップ取付部(下)、ベルト止めの順に通し、カメラのグリップを握って、フラップが手にフィットするようにベルトの長さを調整してください。

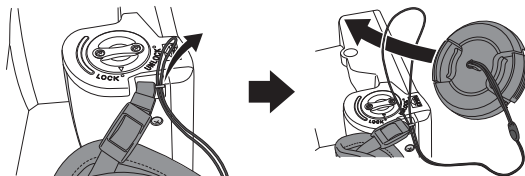


- 4 ベルトの先をアジャスタに通して固定してください。
・調整後のベルトは、フラップ内部に収納してください。



レンズキャップのひもを取り付ける(任意)

- 1 カメラのストラップ取付部(下)にひもを通し、通したひもを輪にして、そこにレンズキャップを通して固定してください。

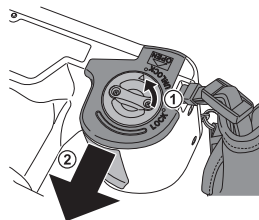


ひもが不要な場合は、はさみなどで切り取ってからご使用ください。

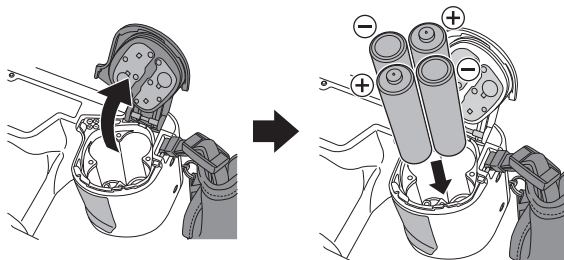
電池を取り付ける

電池格納部は本体の底面にあります。本体を裏返して作業してください。

- 1 電池カバーのロックレバーを「UNLOCK」の位置まで回してから、電池カバーをレンズ側にスライドさせてください。



- 2 電池カバーを引き上げ、単3形充電式ニッケル水素電池またはアルカリ乾電池を4本入れてください。

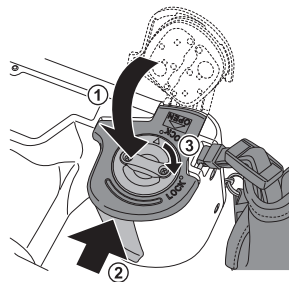


- 3 電池カバーを閉じ、元の位置までスライドさせてから、ロックレバーを「LOCK」の位置まで回してください。



注記

- ・電池カバーを閉じたあとは、必ず「LOCK」の位置までロックレバーを回してください。ロックされていないと、電池が落下することがあります。
- ・使用できる電池は充電式ニッケル水素電池およびアルカリ乾電池です。マンガン乾電池およびニッカド電池は使用できません。
- ・電池は必ずすべて同じ種類、同じメーカーのものを使用してください。また、古いものと新しいものを混ぜたり、未充電のものと充電済みのものを混ぜないでください。

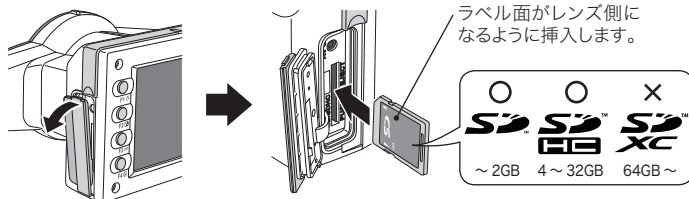


参考

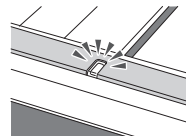
- ・充電式ニッケル水素電池は、購入直後や長期間使用していなかったときに、本来の性能を発揮できない状態（不活性化状態）になっていることがあります。このときは、何度か充電・放電を繰り返すことで正常に使用できる場合があります。
- ・アルカリ乾電池は、製造日から長期にわたって保存されていると、電池寿命が短くなっていることがあります。
- ・電池はその特性上、低温で使用すると撮影可能枚数が極端に少なくなります。

SDカードを取り付ける

- 1 本体側面のカードスロット／ビデオ出力端子カバーを開き、SDカードをスロットに挿入してください。



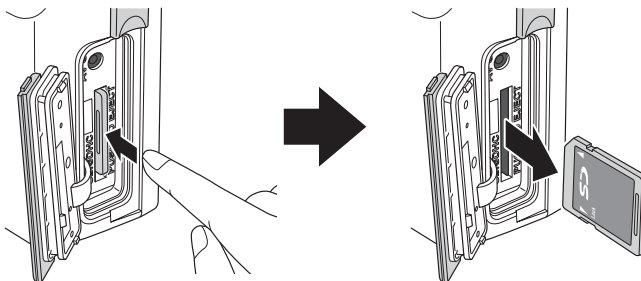
- 注記**
- ・本器ではSDカードおよびSDHCカードを使用できます。SDXCカードは使用できません。
 - ・SDカードが奥まで入らないとき、無理に押し込むと破損の原因となります。いったん取り出し、挿入方向を確認してください。
 - ・パイロットランプがオレンジ色に点灯しているときは、絶対にSDカードを取り外さないでください。SDカード内のデータが破損する原因となります。



- 2 カードスロット／ビデオ出力端子カバーをしっかりと閉じてください。

SDカードの取り出し方

- 1 SDカードを「カチッ」と音がするまで指で軽く押し込み、その後まっすぐ引き抜いてください。





ワンポイント

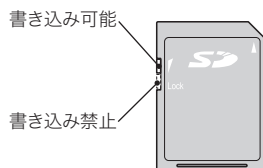
●撮影可能枚数の目安

充電式ニッケル水素電池（電池容量 1,900mAh 程度のもの）をフル充電状態から使用したときは、約 350 コマ程度の撮影が可能です。

新品のアルカリ乾電池を使用したときは、約 250 コマの撮影が可能です。（当社試験条件による）上記の枚数は目安です。設定や再生などの動作時間が長くなると、その分だけ撮影可能枚数は少なくなります。

●SD カードのライトプロテクトスイッチについて

SD カードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが付いています。このスイッチを下にスライドさせると、SD カードへの書き込みが禁止され、SD カード内の画像を保護することができます。撮影するときは、スイッチを上スライドさせてください。



●一枚のカードに記録可能な撮影画像数について

撮影した画像のファイルサイズ（データ容量）は、画像サイズと画質の設定によって変わります。添付の 4GB の SDHC カードに記録できる撮影画像数の目安は次のとおりです。

参照 ファイルサイズは被写体によって異なるため、下記の数値は目安とお考えください。

画像サイズ 画質	12M (4:3)	10M (3:2)	8M (4:3)	7M (3:2)	5M (4:3)	4M (3:2)	3M (4:3)	3M (3:2)	2M (4:3)	VGA (4:3)
エクストラファイン	470	530	710	800	1160	1300	1760	1970	2970	9999**
ファイン	660	750	1000	1120	1620	1820	2460*	2760	4150	9999**
スタンダード	1110	1250	1670	1870	2710	3030	4090	4580	6890	9999**

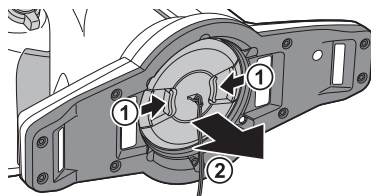
※ 工場出荷時の設定

※※ 9999 枚以上の撮影が可能です。

レンズキャップを取り外す

1

レンズキャップのつまみを持ち、内側に力を加えながら引き抜いてください。

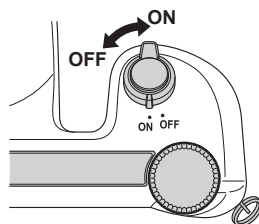


- ・ご使用後はレンズキャップのつまみを持ち、元どおりに取り付けてください。
- ・本器を保管するときも、レンズキャップを装着してください。

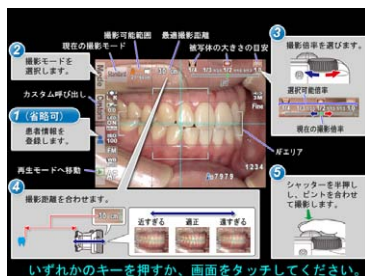
電源をONにする

1 電源スイッチを回し、電源をONにしてください。

- ・電源をOFFにするときは、スイッチ下部の突起が「OFF」を指すように回してください。
- ・本器にはパワーセーブ機能と自動電源OFF機能が搭載されています。一定時間放置するとパワーセーブ状態に移行し、さらに放置すると電源がOFFになります。



2 操作ガイド画面が表示され、画面下部に「いずれかのキーを押すか、画面をタッチしてください」と表示されたら撮影に進むことができます。撮影するときは、指示に従っていずれかのキーを押すか画面をタッチしてください。



初めて電源をONにしたとき

初めて電源をONにしたときは、以下のように言語、年月日表示形式、日時、単位の設定を行うためのダイアログが表示されますので、それぞれの設定を行ってください。

1 言語の設定

メニューなどで使用する言語を設定します。日本語、英語、ドイツ語、フランス語から選択できます。



2 年月日の表示形式の設定

年月日の表示形式を設定します。



3 日時の設定

現在の年月日時刻を設定します。 (ダイヤルキー) またはタッチで設定したい項目を移動させ、▲ (F2キー) または ▼ (F3キー) で値を変更できます。



4 単位の設定

距離設定で使用する単位を選択します。メートル法とヤード法から選択できます。



これらの設定はセットアップモードで後から変更することもできます。



ワンポイント

●パワーセーブとは？

一定時間（初期設定では1分間）、操作せずに放置すると、自動的に液晶モニターの表示が消えて電池の消耗が抑えられる機能です。パワーセーブ状態ではパイロットランプが点滅します。パワーセーブ状態から復帰するときは、いずれかのボタンを押すか、タッチパネルに触れてください。撮影可能な状態に戻ります。

パワーセーブ状態になるまでの待機時間は、セットアップメニューから変更できます。 [参照](#) p.32

●自動電源 OFFとは？

パワーセーブ状態になってからさらに30分間放置すると、自動的に電源がOFFになる機能です。自動電源OFF機能で電源OFFになったときは、電源スイッチをいったん「OFF」に切り替え、さらに「ON」に切り替えることで再起動します。

●電池残量を確認するには？

電源をONにすると、電池の残量が液晶モニターに表示されます。

表示	電池の状態
 （緑色） （約5秒後に消灯）	電池残量は十分にあります。
 （橙色）	電池残量は半分程度です。
 （赤色）	電池残量が少なくなっています。電池の充電または交換をおすすめします。この状態でも撮影は可能です。
電池がなくなりました （エラーメッセージ）	電池残量がなくなりました。メッセージ表示後、自動的に電源がOFFになります。電池を充電、または交換してください。

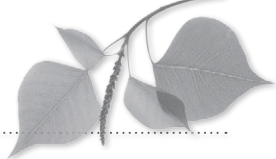
●処理中の反応について



（ダイヤルキー）を回して倍率を変更した直後、シャッターを半押ししてオートフォーカスを動作させた直後、シャッターを押して撮影した直後などは、カメラ内部でさまざまな処理を行なっていますので瞬時に次の操作に反応しない場合があります。

操作に反応しないときは、少し時間をおいてからもう一度操作してください。

2 基本

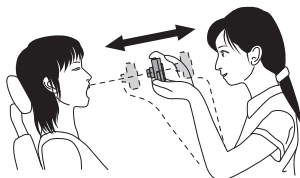


●別紙「はじめにお読みください」の △警告 および △注意 を守ってください。

はじめに

本器は、歯科撮影専用に設計されているため、一般のデジタルカメラのようにさまざまな距離から撮影することはできません。最適条件での撮影を実現するために、被写体との距離をある一定の範囲内に制限する必要があります。

● 一般のデジタルカメラ



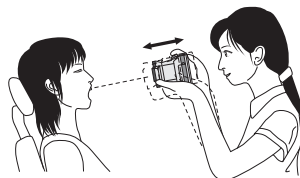
[長所]

- ・どこからでも撮影できる。
※ 近づきすぎると撮影できなくなります。

[短所]

- ・いつも同じ大きさで撮影できない。
・配光の条件が一定でない。

● アイスベシカル C-II



[長所]

- ・一定の大きさを決めて撮影できる。
・一定の配光条件で撮影できる。

[短所]

- ・撮影できる距離に制限がある。

撮影の流れ

STEP1

患者情報を登録または
撮影する(任意)

- ・テンキーでIDを入力する 参照 P.17
- ・QRコードから読み取る 参照 P.18
- ・カルテから患者の氏名を撮影する 参照 P.19



STEP2

撮影モードを選ぶ

- ・あらかじめ用意されたモードから選ぶ 参照 P.20、21
- ・カスタムモードから選ぶ 参照 P.22



STEP3

撮影倍率を選ぶ

参照 P.25



STEP4

撮影距離を合わせる

参照 P.26、27



STEP5

撮影する

参照 P.28

患者情報を登録または撮影する（任意）

本器では、撮影した画像の管理のために、以下の機能を利用できます。

- ・画像に患者情報を登録する
- ・カルテの患者氏名を撮影する

なお、これらの機能を使用しなくても撮影できます。

撮影モード画面で  (F3キー) を押すと、患者情報画面が表示されます。この画面から、患者情報の登録や消去を行うことができます。



患者情報	…患者のIDを数字と記号で登録できます。(10桁まで)
テンキーから入力	…QRコードから患者のIDと氏名を読み取ることができます。
QRコードから入力	…実際にカルテを撮影して保存します。
氏名を撮影	…登録されているID情報を確認します。
患者情報の確認	…登録されているID情報を消去します。
患者情報の消去	

テンキーでIDを入力する

「テンキーから入力」を選択すると、右のテンキーパッドが表示されます。IDとして最大10桁の数値または記号を入力できます。



QRコードから読み取る

専用のQRコードを撮影することで、患者のID番号と氏名を登録できます。

「QRコードから入力」を選択すると右の画面が表示されます。画面中央にある白枠の中にQRコードが収まるようにカメラを構えてください。シャッターを半押しするとQRコードの認識が始まります。



読み取りに成功すると、右の画面が表示されます。「OK」を押すと、IDおよび氏名が登録されます。

※QRコードを作成するソフトウェアは開発中です。

A screenshot of the registration screen after a successful QR scan. It shows two input fields: 'ID : 7979' and '氏名 : 松風 太郎' (Name: Matsuoka Taro). Below these fields are two buttons: 'OK' and 'リタイ' (Retry).

ワンポイント

テンキーから入力、またはQRコードから読み取ったID情報は、以下のように扱われます。

①撮影モード画面への表示

画面の右下に、登録したIDが表示されます。

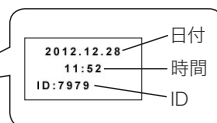
この状態で撮影を行うと、画像にID情報が付与されます。

②再生モード画面への表示

患者情報が付与された画像を再生するとき、画面右下に表示されます。

③患者情報画像の生成

患者情報が登録された時点で、下の図のような画像が生成されます。



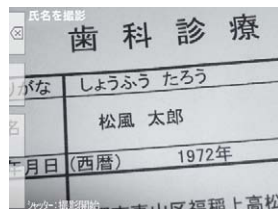
カルテから患者の氏名を撮影する

「氏名を撮影」を選択すると、紙カルテや電子カルテから患者の氏名を撮影することができます。

「氏名を撮影」を選択すると右の画面が表示されます。画面に氏名の部分が収まるようにカメラを構え、シャッターボタンを半押ししてピントがあったら撮影してください。



- ・この機能は、紙カルテや電子カルテの名前欄から患者の氏名を撮影しやすいようにカメラの設定を変更するものです。
- ・この機能を使って氏名の部分を撮影しても、IDや氏名の情報はカメラに取得できません。



2

基本

患者情報を確認する・消去する

患者情報画面で「患者情報の確認」を押すと、登録されているIDおよび氏名を確認できます。



「患者情報の消去」を押すと、右の確認画面が表示されます。そのまま消去するときは、「OK」を押してください。



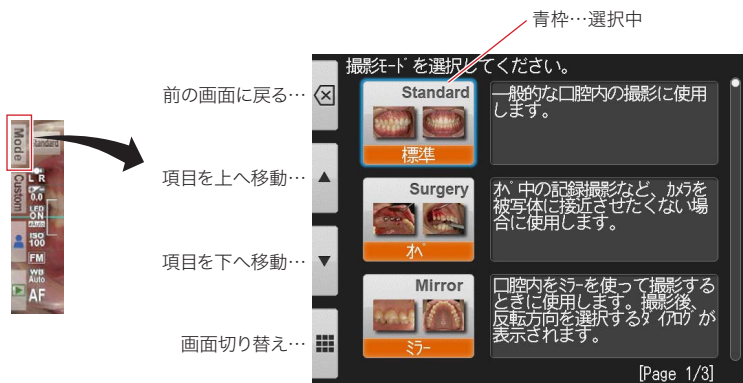
カメラの電源を切ることで、患者情報は消去されます。

撮影モードを選ぶ

あらかじめ用意されたモードから選ぶ

撮影モード画面で **Mode** (F1 キー) を押すと、撮影モード選択画面が表示されます。

本器は8つの撮影モードを搭載しています。撮影目的に合った撮影モードを選択してください。



●撮影モード一覧

モード名	用途	説明
標準モード	一般的な口腔内、口元などを撮影するとき。	歯科撮影における基本の撮影モードです。通常の口腔内撮影や口元にはこのモードを使用してください。
オペモード	オペ中の記録撮影のように、口腔内、口元などを離れた場所から撮影するとき。	標準モードよりも離れた場所からの撮影が可能です。オペ中の記録撮影など、カメラを被写体に接近させたくない場合に使用してください。
ミラーモード	ミラーを使用して口腔内を撮影するとき。	ミラーを使って撮影する場合に最適化されています。撮影後にミラー反転の方向を選択するダイヤログが表示され、カメラ内で画像を反転させることが可能です。
顔貌モード	口元、顔貌、胸像を撮影するとき。	口元や顔貌、胸像を撮影する場合に最適化されています。画面に「▲ UP」マークが表示されたら、▲の方向が上になるようにカメラを縦に構えて撮影してください。(※このモードではオートトリミング機能が使用できません。)
低反射モード	前歯部の詳細撮影、模型、技工物を撮影するとき。	外側フラッシュを使用して被写体に対して斜め方向から光を照射して撮影を行うことで、歯の表面に映り込む“テカリ”を少なくすることができます。また、フラッシュを強く発光させて撮影しますので、歯の色調のベースとなる内部の色調を強調して記録することができます。
ホワイトニングモード	ホワイトニング治療前後の歯冠色の比較撮影を行うとき。	基本は低反射モードと同一ですが、低反射モードよりもフラッシュを微弱発光させて撮影を行います。また、コントラストは若干強めに設定されています。これにより、“てかり”が少なく、なおかつ歯のテクスチャや表層の色調、術前・術後の明暗差を強調して記録することができます。
テレマクロモード	前歯部や技工物、模型を拡大して撮影するとき。	外側フラッシュを使用して撮影します。低反射モードよりも撮影倍率を拡大して撮影することが可能です。クローズアップレンズの装着が必要です。
シェード抽出モード	シェードテイク用画像を撮影するとき。	このモードでは1回の撮影で同時に二枚の画像を保存します(低反射モードと同一の画像+歯冠色以外を無彩色に処理した画像)。歯冠色以外を無彩色に変換することで、目視評価時に色の錯覚(色相対比)を起しにくくなります。



注記

シェード抽出モードについて

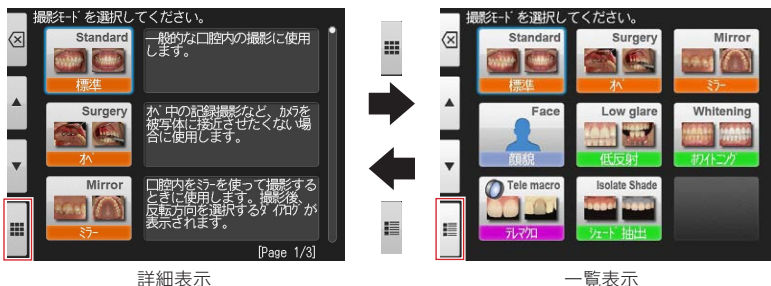
極端な変色歯・着色歯の場合や歯茎が黒く変色している場合、シェード抽出が適切に行われない場合があります。



ワンポイント

●画面表示の切り替えについて

モード選択画面には詳細表示と一覧表示があります。F4キー（ / ）を押すと交互に切り替えることができます。

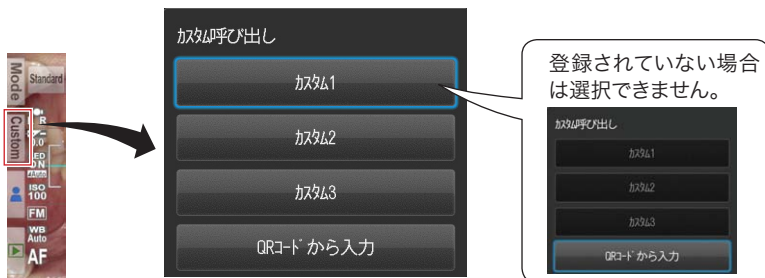


カスタムモードから選ぶ

本器では、既存のモードをお好みに合わせた設定に変更し、カスタムモードとして登録し、使用することができます。

撮影モード画面で **Custom** (F2キー) を押すと、カスタムモード選択画面が表示されます。

「カスタム1」～「カスタム3」の中から希望するボタンを選ぶと登録されている設定が呼び出されます。



注記

電源を切るとカスタムモードから呼び出された設定は消去され、既存の撮影モードに戻ります。もう一度使用したい場合は、再度カスタムモード選択画面から呼び出して使用してください。

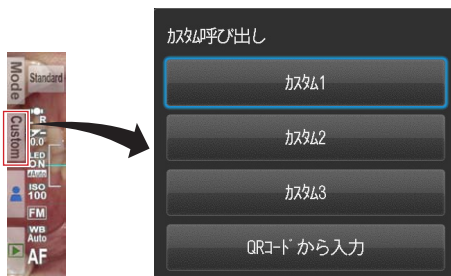


カスタムモードの登録方法については、「●登録」を参照してください。(→P.69)

QRコードから設定を読み込む

本器では、専用のQRコードを読み込むことで、撮影設定を一括で変更しカスタムモードに登録することができます。

- 1 撮影モード画面で **Custom** (F2キー) を押すと、カスタムモード選択画面が表示されます。
「QRコードから入力」を選択してください。



- 2 図の画面が表示されたら、白枠内にQRコードを写してシャッターを押してください。



- 3 下図のように登録先を選択するダイアログが表示されますので、「カスタム1」～「カスタム3」の中から選択してください。



次に使用される場合は、「カスタムモードから選ぶ」の方法にしたがって設定を呼び出し、使用してください。

●カスタム設定用QRコード

このページにはカスタムモード選択画面の「QRコードから入力」で読み込めるカスタム設定用QRコードを掲載します。撮影用途に合わせてご活用ください。

QRコード	モード名	用途	説明
	石膏模型 (大型) 撮影モード	スタディモデルのような大型の石膏模型を撮影したいとき	標準モードをベースとして、調光補正を -0.7Ev に変更したモードです。
	石膏模型 (小型) 撮影モード②	支台歯のような小型の石膏模型を撮影したいとき	低反射モードをベースとして、調光補正を -0.7Ev に変更したモードです。
	ミラー撮影に対応したオペモード	オペモードでミラーを使用して撮影したいとき	オペモードをベースとして、調光補正を +0.7Ev に変更し、ミラー反転ダイアログを表示させるようにしたモードです。
	フィルム撮影	シャーカステン上のレントゲンフィルムを撮影したいとき	顔貌モードをベースとして、フラッシュとLED照明をオフにして焦点距離変更モードで撮影するようにしたモードです。
	全設定リセット	全ての設定を初期化したいとき	このQRコードを読み込むと、カメラの全設定がリセットされ工場出荷時の状態に戻ります。

※設定用QRコードについては、弊社ホームページ

(<http://www.shofu.co.jp/eyespecial/>) に順次追加していく予定です。

撮影倍率を選ぶ

撮影モード画面の右上に表示されるゲージから、撮影倍率を選択してください。 (ダイヤルキー)を回すと倍率を変更できます。



●撮影目的に応じた倍率の選び方

①標準・オペモード

正面観	側方観	スマイルライン	石膏模型 (大)
			
1/1.5 ~ 1/2	1/2 ~ 1/2.5	1/3 ~ 1/4	1/2 ~ 1/2.5

②ミラーモード

咬合面観	上顎口蓋側面観	前歯舌側面観
		
1/2 ~ 1/2.5	1/1.3 ~ 1/1.5	1.0 ~ 1/1.3

③顔貌モード

口元	顔貌	胸像
		
 口元	 顔貌	 胸像

④低反射・ホワイトニング・シェード抽出モード

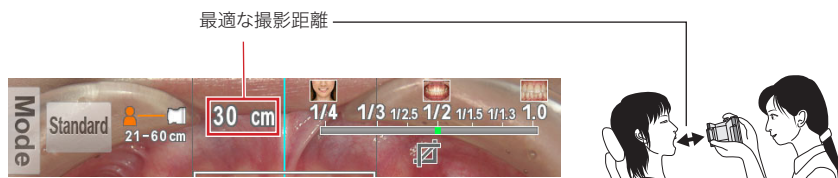
シェードテイキング	前歯部拡大	技工物	石膏模型
			
1/1.3 ~ 1/1.5	1.4 ~ 1.0	1.4 ~ 1/1.3	1.4 ~ 1/2

⑤テレマクロモード

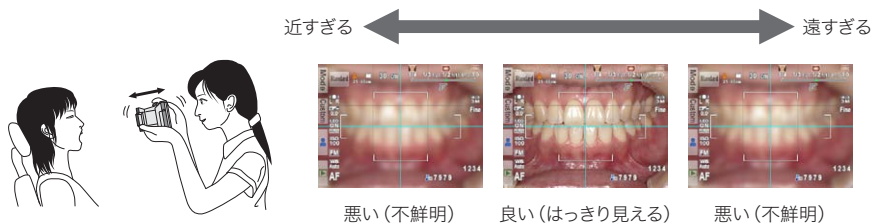
前歯部拡大	技工物	石膏模型
		
2.0 ~ 1.2	2.0 ~ 1.2	2.0 ~ 1.2

撮影距離を合わせる

- 画面上部に表示される最適な撮影距離を目安に、被写体とのおおよその距離を合わせてください。



2 シャッターボタンを押さずに、液晶モニターに被写体が鮮明に映るように、本器を前後に移動させてください。



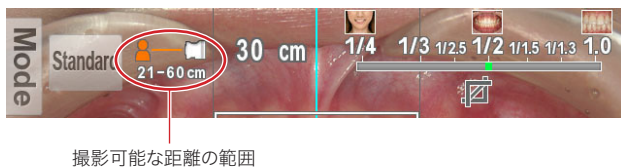
注記 距離の調整中は、シャッターボタンを押さないでください。



ワンポイント

●撮影距離について

表示された最適距離から離れていても、撮影可能な距離の範囲内であれば、そのまま撮影できます。

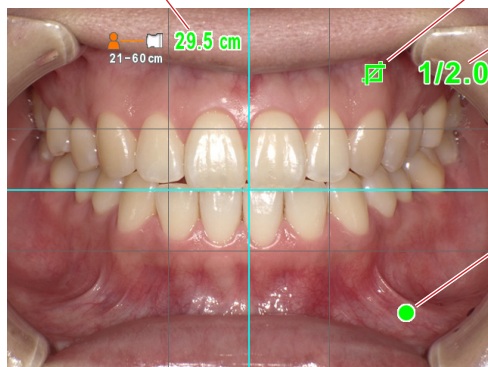


ピントを合わせて撮影する

AF 枠内でピント合わせを行います。ピントが合うと、以下のように4つのアイコンが表示、または変化します。



(距離を確認してください)



(距離を確認してください)

1/2.3 (赤色) …選択した倍率での撮影
ができません。(距離を
確認してください)

(距離を確認する、または
ピントを合わせる対象を確認してください)

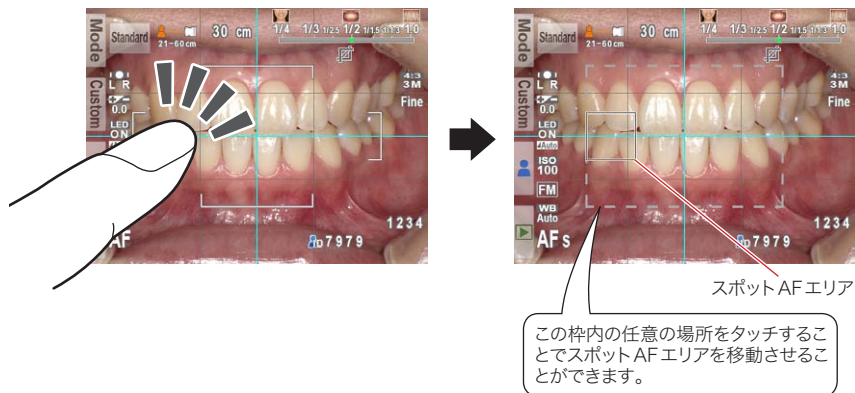
28



ワンポイント

●スポットAFについて

撮影モード画面で液晶モニター中央部をタッチすると、その位置がAFエリアとなるスポットAFモードに切り替わります。スポットAFエリアを数秒間タッチし続けると、通常のAFに戻ります。



フォーカスモードの切り替えについての詳細は、以下を参照してください。

参照 ●「フォーカスモード」：P.62

2

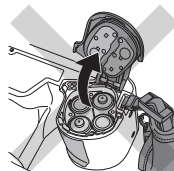
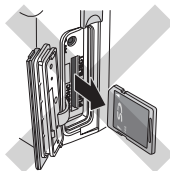
ピントが合ったら、シャッターボタンを押し込んで撮影してください。

- ・撮影後の約5秒間、撮影された画像が液晶モニターに表示されます。(アフタービュー機能)
- ・画像表示をキャンセルしてすぐに次の撮影を行いたいときは、シャッターボタンを半押しするか、 (SET キー) を押してください。画像が保存され、次の撮影が可能になります。



注記

SDカードに画像データを保存しているときは、パイロットランプがオレンジ色に点灯します。その間は絶対にSDカードや電池を取り外さないでください。SDカード内のデータが破損する原因となります。



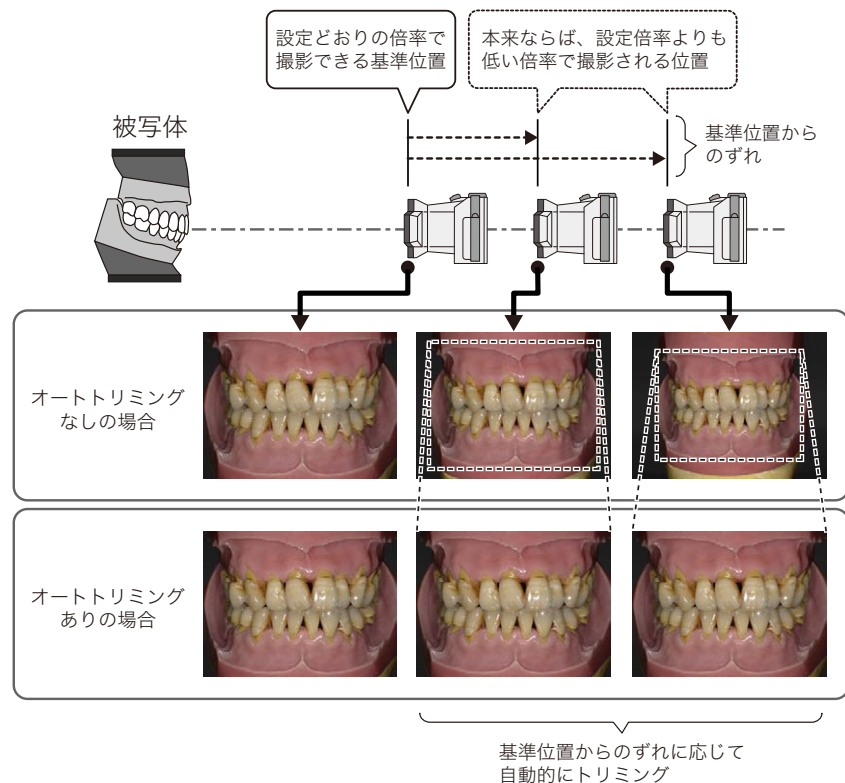


ワンポイント

●オートトリミングとは？

オートトリミングとは、設定した倍率に合わせて自動的に撮影される画像サイズを調整する機能です。最適な距離から離れてしまった位置からでも、設定倍率の画像を撮影することが可能です。

※顔貌モード・テレマクロモードではこの機能は利用できません。



撮影可能範囲内でも、最適距離から離れすぎるとオートトリミング処理ができない場合があります。距離とオートトリミングサインに注意してください。

また、最適距離から離れるほど切り出す範囲が小さくなりますので、画像の解像度が低下する場合があります。

撮影モードごとの特別な機能について

●ミラーモード

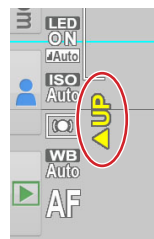
ミラーモードでは、撮影後に右のような画面が表示され、撮影された画像を上下または左右に反転させることができます。



- ・常に反転させる方向が決まっている場合は、メニューから反転方向を設定して、この画面を表示させないようにすることもできます。
- ・オベモード、テレマクロモードでも画像を反転させることができます。

●顔貌モード

顔貌モードで右の図のように「▲UP」アイコンが表示されたときは、カメラを縦に構えて撮影してください。



●テレマクロモード

テレマクロモードで撮影するときは、次の画面のように「クローズアップレンズを装着してください」と表示されます。



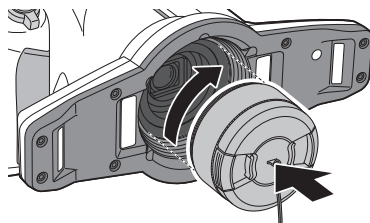
クローズアップレンズは、本体レンズの手前に取り付けます。あらかじめ本体レンズのレンズキャップを取り外しておいてください。

- 1 クローズアップレンズを本体レンズの手前にかぶせて、時計方向に回して締めてください。

緩みがなくなるまで締めてください。

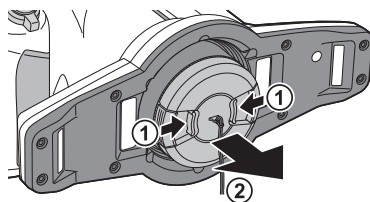


右の図のようにクローズアップレンズにレンズキャップを取り付けた状態で作業を行うと、取り付けやすくなります。

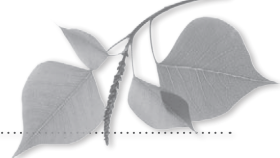


- 2 レンズキャップのつまみを持ち、内側に力を加えながら引き抜いてください。

・使用後はレンズキャップのつまみを持ち、元どおりに取り付けてください。通常の撮影を行うときは、クローズアップレンズごと取り外してください。



3 応用撮影



3

応用撮影

●別紙「はじめにお読みください」の ⚠警告 および ⚠注意 を守ってください。

この章では、アイススペシャルC-IIをより高度にお使いいただくために、基本撮影以外のさまざまな撮影方法について説明しています。

オートトリミング機能を使用しない撮影方法

オートトリミングを「なし」にすると、従来器アイススペシャルC-Iと同等の撮影方法が可能です。基本的な撮影方法は「第2章 基本撮影」で述べたオートトリミング「あり」の撮影方法に準じますが、最適撮影距離からカメラがずれるほど撮影倍率が変化していきます。

●オートトリミング「あり」のメリット／デメリット

メリット	最適な撮影距離からカメラがずれても撮影倍率が一定になる。
デメリット	最適な撮影距離からのずれが大きくなると画質が劣化する場合がある。 設定されている倍率以外での撮影ができない。

●オートトリミング「なし」のメリット／デメリット

メリット	トリミングによる画質の劣化が生じない。 設定されていない倍率でも撮影が可能。
デメリット	設定倍率どおりに撮影するためには、きっちりと最適な撮影距離にカメラを合わせる必要がある。

●オートトリミングの設定方法

撮影したいモード→  (MENU キー) → タブ2 → オートトリミング → 「なし」を選択



「オートトリミング」：P.30 「●オートトリミングとは？」を参照してください。



オートトリミング「なし」を既定の設定にする場合は、撮影モードに上書き登録してください。
・「登録」：P.63 「オートトリミング」を参照してください。

撮影方法

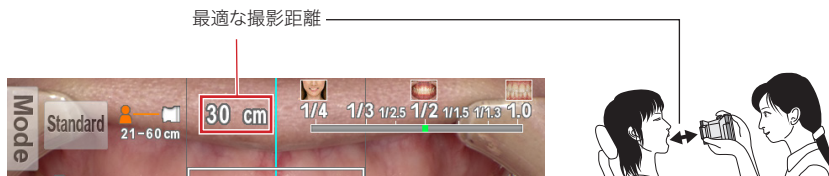
撮影倍率を選ぶ

撮影モード画面の右上に表示されるゲージから、撮影倍率を選択してください。🌀（ダイヤルキー）を回すと倍率を変更できます。

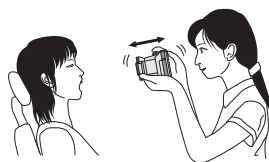


撮影距離を合わせる

1 画面上部に表示される最適な撮影距離を目標に、被写体とのおおよその距離を合わせてください。



2 シャッターボタンを押さずに、液晶モニターに被写体が鮮明に映るように、本器を前後に移動させてください。



近すぎる ← → 遠すぎる



悪い (不鮮明)

良い (はっきり見える)

悪い (不鮮明)

注記 距離の調整中は、シャッターボタンを押さないでください。



ワンポイント

SET (SETキー) を押すごとに、プレビュー画面の中央部を2倍、4倍に拡大することができます。プレビュー画面を拡大することで被写体にピントが合っているかどうかを確認しやすくなります。



撮影する

●ピントを合わせて撮影する

1 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。

AF 枠内でピント合わせを行います。ピントが合うと、以下のように3つのアイコンが表示、または変化します。



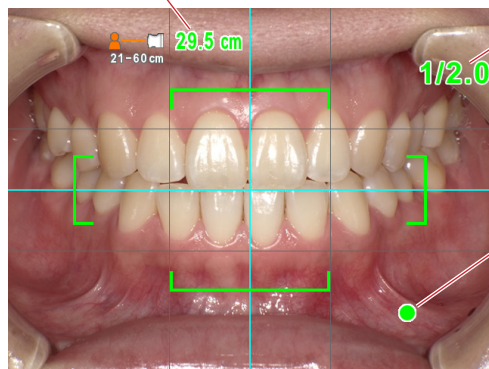
①計測された距離

ピントが合ったときの、撮影対象とカメラの距離を示しています。

29.5 cm (緑色) …撮影可能な距離に入っています。

62.8 cm (赤色) …撮影可能な距離から外れています。

(距離を確認してください)



②撮影倍率

撮影される倍率を示しています。

1/2.0 (緑色) …選択した倍率で撮影できます。

1/2.3 (赤色) …選択した倍率での撮影ができません。(距離を確認してください)

③ピントサイン

ピントの状態を示しています。

● (緑色) …ピントが合っています。

● (赤色) …ピントが合っていない。
(距離を確認する、またはピントを合わせる対象を確認してください)

2 ピントが合っていること、および計測距離や撮影倍率を確認したうえで、これでよければシャッターボタンを押し込んで撮影してください。

・再度、距離を調整する場合は、いったんシャッターボタンから指を離して、「撮影距離を合わせる」の部分に戻ってから、カメラの位置を再調節してください。

マニュアルフォーカスによる撮影方法

フォーカスモードを「MF（マニュアルフォーカス）」にすると、固定焦点によるマニュアルフォーカス撮影が可能です。銀塩フィルムカメラ時代から続く一眼レフをベースとした従来型の歯科用デジタルカメラの撮影方法を踏襲しています。

マニュアルフォーカス撮影のメリット／デメリット

メリット	従来の一眼レフをベースとした歯科用デジタルカメラに慣れている人に違和感無く使用できる。 オートフォーカスによる待ち時間が無い。
デメリット	画面を見ながらカメラの前後移動でピント合わせをする必要がある。 ある程度の慣れが必要。

マニュアルフォーカスの設定方法

［ショートカット操作］

撮影したいモード→ + （ダイヤルキー）→「MF」を選択

［メニュー操作］

撮影したいモード→（MENUキー）→タブ1→フォーカスモード→「MF」を選択



・「フォーカスモード」：P.62「●フォーカスモード」を参照してください。



マニュアルフォーカス撮影を既定の設定にする場合は、撮影モードに上書き登録してください。
・「登録」：P.69「●登録」を参照してください。

撮影方法

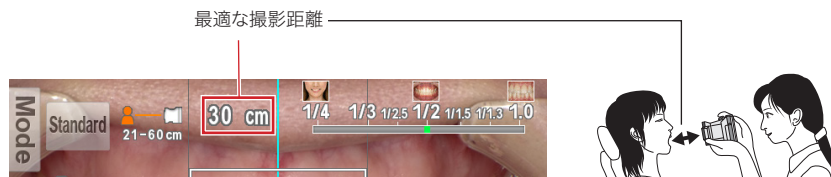
撮影倍率を選ぶ

撮影モード画面の右上に表示されるゲージから、撮影倍率を選択してください。🌀（ダイヤルキー）を回すと倍率を変更できます。

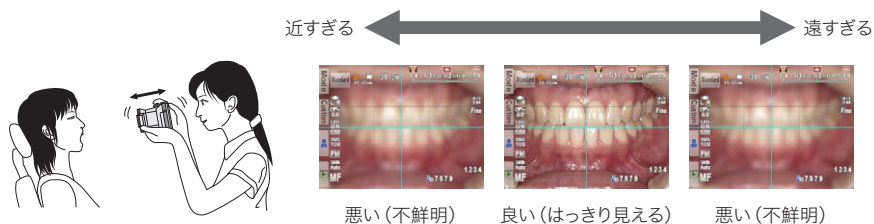


撮影距離を合わせる

1 画面上部に表示される最適な撮影距離を目標に、被写体とのおおよその距離を合わせてください。



2 シャッターボタンを押さずに、液晶モニターに被写体が鮮明に映るように、本器を前後に移動させてください。



注記 距離の調整中は、シャッターボタンを押さないでください。



SET (SET キー) を押すごとに、プレビュー画面の中央部を2倍、4倍に拡大することができます。



・「ワンポイント」：P.35「ワンポイント」を参照してください。

撮影する

1 シャッターボタンを押し込んで撮影してください。

- 再度、距離を調整する場合は、いったんシャッターボタンから指を離して、「撮影距離を合わせる」の部分に戻ってから、カメラの位置を再調節してください。

通常のカメラのように焦点距離を指定する撮影方法

ダイヤル動作を「焦点距離変更」にすると、通常のカメラのように焦点距離を指定して撮影することが可能です。撮影倍率を特に意識することなく、通常のデジタルカメラのように撮影したい場合にお使いください。

●焦点距離を指定する撮影のメリット／デメリット

メリット	通常デジタルカメラのように、倍率を意識することなく撮影が可能。
デメリット	規格撮影ができない。

●ダイヤル動作の設定方法

撮影したいモード→ (MENUキー) →タブ2→ダイヤル動作→「焦点距離変更」を選択
+
→タブ1→フォーカス原点復帰→「なし」を選択



- ・「ダイヤル動作」：P.63「ダイヤル動作」を参照してください。
- ・「フォーカス原点復帰」：P.62「フォーカス原点復帰」を参照してください。



注記 焦点距離を指定した撮影の際にはマニュアルフォーカス撮影はできません。



- マニュアルフォーカス撮影を既定の設定にする場合は、撮影モードに上書き登録してください。
- ・「登録」：P.69「●登録」を参照してください。

焦点距離を選ぶ

撮影モード画面の右上に表示されるゲージから、撮りたい構図になるように焦点距離を選択してください。 (ダイヤルキー) をまわすと焦点距離を変更できます。

また、 マークが表示されている領域はデジタルズーム領域になります。右へまわすほどデジタルズーム拡大率が大きくなります。



上の画面は標準モードの場合の参考例です。選択する撮影モードによって焦点距離の範囲は異なります。

撮影距離を合わせる

画面上部に表示される撮影可能な距離の範囲内になるようカメラと被写体との位置を合わせます。



撮影する

●ピントを合わせて撮影する

1 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。

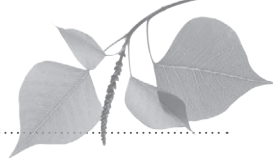
AF 枠内でピント合わせを行います。

AF 枠



2 ピントが合ったら、シャッターボタンを押し込んで撮影してください。

4 撮影のコツ



●別紙「はじめにお読みください」の ⚠警告 および ⚠注意 を守ってください。

この章では、アイススペシャルC-IIをお使いいただくうえで、知っておくと便利な情報や、より確実に口腔内撮影を行うためのテクニックやヒントを記載しています。



注記

これらの内容は参考情報であり、設定の変更によって最適な画像が撮影できることを保証するものではありません。また、記載されている撮影のテクニックを使うことによって確実に最適な画像が得られることを保障するものではありません。あらかじめご了承ください。

4

撮影
の
コ
ツ

カメラの構え方のコツ

- 手ぶれ防止のために
- ・片足を軽く踏み出して上半身を安定させる
 - ・壁やユニットなどの動かない物体にもたれる
 - ・机などに肘をつくなど



通常の構え方

脇を締め、左手でレンズの下側を持って支える



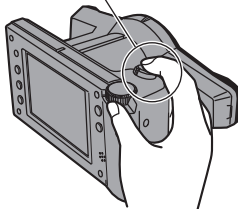
縦構図の構え方

左手は、カメラ側面又は底面を掴んで安定させる

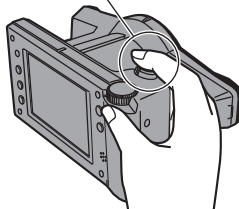
右手を下にしてしっかりと脇を締める

シャッター操作のコツ

指先でシャッターボタンを押すとカメラがぶれやすくなる



指の腹でシャッターボタンを押すとカメラがぶれにくい

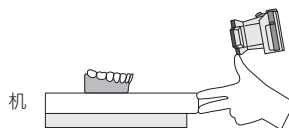


上の図のように、指の長い人が指先でシャッターボタンを押し込もうとすると、押した瞬間にカメラが動き、構図がずれることがあります。指の腹の部分でゆっくりシャッターボタンを押し込むと、押した瞬間のカメラの動きが少なくなり、構図のずれを抑えることができます。

構図を安定させるコツ



口腔内の場合



模型の場合

低反射モードやテレマクロモードなどを使って歯の拡大画像を撮影する場合、カメラのわずかなズレでも構図が大きく変わってしまいますので、上図のように左手を使ってカメラと被写体（患者様の顎など）を固定して撮影してください。このように撮影することで、簡単に構図を合わせることができます。

操作のコツ

ピントがうまく合わないときの原因と対処

●原因1 ピントを合わせようとした場所のコントラストが低い

対処方法⇒コントラストの高い位置でピントを合わせてください。

【解説】

本器のオートフォーカス機構は、被写体のコントラスト（明暗差）を利用しています。したがって、まったく模様の無い単色の被写体や、コントラストが低い被写体、非常に暗い場所にある被写体にはピントが合わない場合があります。

口腔内撮影を行うときは、歯間部や歯頸部などのコントラストの高い部分がAFエリアに入るようにピントを合わせてください。

●原因2 ピントを合わせたあとにカメラが前後に動いた

対処方法⇒しっかりとカメラを構えて撮影してください。

【解説】

シャッターボタンを半押ししてピントを合わせたあとに、カメラまたは被写体が前後に動き、ピント位置がずれたことが原因と考えられます。上半身を安定させて、しっかりとカメラを構えて撮影してください。

画面の中央以外にピントを合わせる

スポットAFを使用することで、特定の部位にピントを合わせて撮影することができます。

- 1 撮りたい構図にカメラを構えて、画面でピントを合わせたい場所をタッチしてください。

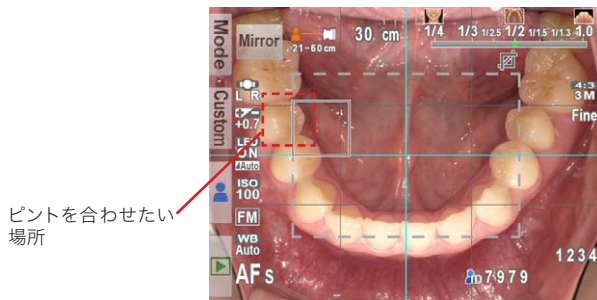


スポットAFエリア
この点線の内側の領域を
タッチすると、そこにスポッ
トが移動します

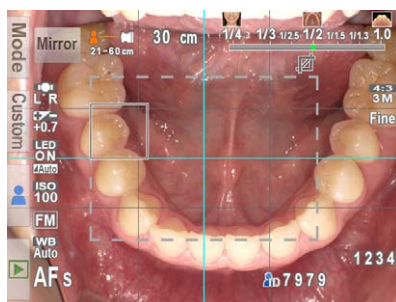
- 2 シャッターボタンを半押しし、ピントが合ったら撮影してください。

フォーカスロックで撮影する

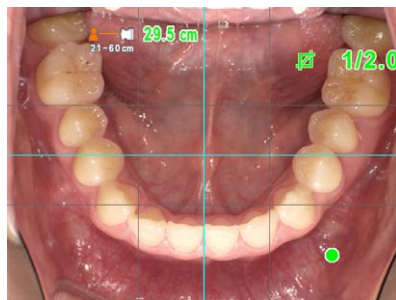
スポットAFエリアの範囲の外側にある被写体にピントを合わせたい場合は、下記に示すフォーカスロックを併用してください。



- 1 ピントを合わせたい場所にスポットAFエリアが入るようにカメラを平行移動させてください。この状態でシャッターボタンを半押ししてください。



- 2 シャッターボタンを半押ししたまま、元の構図(撮りたい構図)になるようカメラを平行移動させてください。このとき被写体に対して距離が変わらないように注意してください。



3 シャッターボタンを押し込んで撮影してください。

明るさを微調整する

ミラーモードでミラー観の撮影を行なったときに、ミラーの反射率によっては画像が明る過ぎる、または暗過ぎる場合があります。また、石膏模型のような光の散乱が強い被写体を撮影する場合は、画像が明るくなり過ぎる場合があります。このようなときは、明るさ補正機能を使用して微調整してください。

●明るさの調整方法

[ショートカット操作]



+



(ダイヤルキー) F2キーを押しながら、ダイヤルキーを回す。



- ・「明るさ補正」：P.61「●明るさ補正」を参照してください。
- ・「ショートカット操作」：P.71「撮影モードメニューのショートカット操作について」を参照してください。



カスタム設定用QRコードを読み込んで石膏模型撮影用のカスタムモードを作成することもできます。(参照⇒p.24)

片側だけのフラッシュを発光させて撮影する

石膏模型は色の変化が少ないため、フラッシュ両側発光で撮影すると陰影が無くなって立体感のない画像になることがあります。フラッシュを片側だけ発光させることによって解決できる場合があります。



(a) 両側発光



(b) 右側発光



(c) 左側発光



- ・片側発光が可能な撮影モードは、標準、ミラー、低反射、ホワイトニング、テレマクロ、シェード抽出モードです。
- ・片側だけを発光させたときも、発光量は自動的に調節されますので、正しい露出で撮影できます。

●発光部の選択方法

[ショートカット操作]



+



(ダイヤルキー) F1 キーを押しながら、ダイヤルキーを回す。

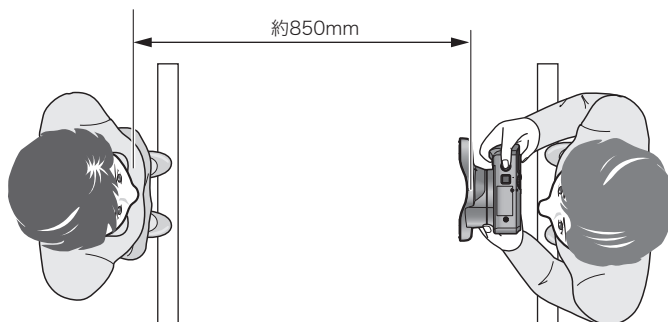


・「フラッシュモード」：P.61「●フラッシュモード」を参照してください。

・「ショートカット操作」：P.71「撮影モードメニューのショートカット操作について」を参照してください。

顔貌モードでの撮影距離について

顔貌モードでは、目測では距離を合わせにくいため、下図のように床にテープなどで目印を付けておくと距離を合わせやすくなり、便利です。



顔貌モード撮影時の影について

フラッシュを発光させて撮影すると、被写体の背景に影が映りこんだり、背景が暗くなったりすることがあります。改善するためには、フラッシュ発光をOFFにする方法があります。

フラッシュを発光OFFにすると、影のない全体が明るい画像を撮影できます。フラッシュを発光せずに撮影する場合は、十分に明るい場所で行ってください。また、手振れを防止するため、しっかりと構えて撮影してください。



フラッシュ発光なしのとき



フラッシュ発光ありのとき

●フラッシュ発光のON/OFF方法

[ショートカット操作]



+



(ダイヤルキー) F1キーを押しながら、ダイヤルキーを回す。



- ・「フラッシュモード」：P.61「●フラッシュモード」を参照してください。
- ・「ショートカット操作」：P.71「撮影モードメニューのショートカット操作について」を参照してください。

模型や補綴物撮影のときに影をやわらかくしたいときのコツ

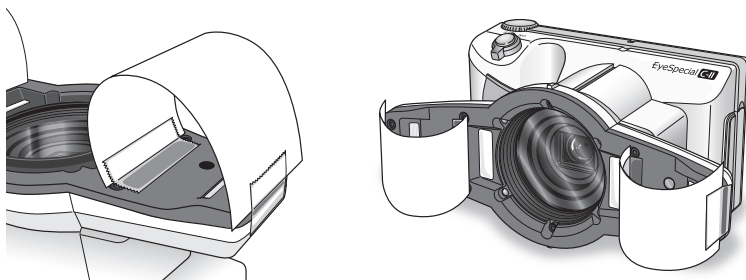
インレー窩洞の模型を撮影する場合など、低反射モードやテレマクロモードでフラッシュ撮影するときにフラッシュの影が気になる場合は、次のようなディフューザーを作成することで影をやわらかくすることができます。

●用意するもの

トレーシングペーパーを4×10cmにカットしたもの：2枚

※トレーシングペーパーはできるだけ無色のもの、できれば撮影用をお使いください。

トレーシングペーパーを下図のようにテープでカメラの外側フラッシュ部のまわりに貼り付けます。



また、トレーシングペーパーによる光の減衰で暗くなるので、明るさ補正を使って適宜、被写体の明るさを調整してください。

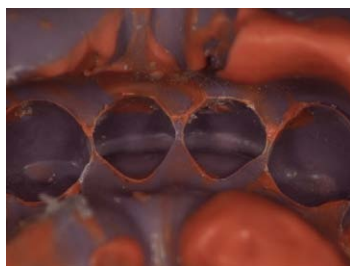
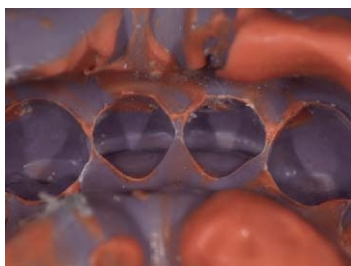


- ・「明るさ補正」：P.61「●明るさ補正」を参照してください。
- ・「ショートカット操作」：P.71「撮影モードメニューのショートカット操作について」を参照してください。

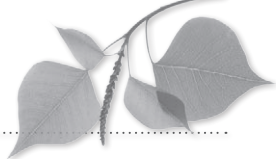
このディフューザーで撮影すると光が拡散され、影がやわらかくなります。

【ディフューザーなし】

【ディフューザーあり】



5 再生



●別紙「はじめにお読みください」の △警告 および △注意 を守ってください。

画像を再生する

撮影した画像を再生する

撮影モード画面で  (F4キー) を押すと、再生モードに切り替わります。最も新しい画像が1枚表示されます。



撮影モードに戻る...

画像の拡大表示...

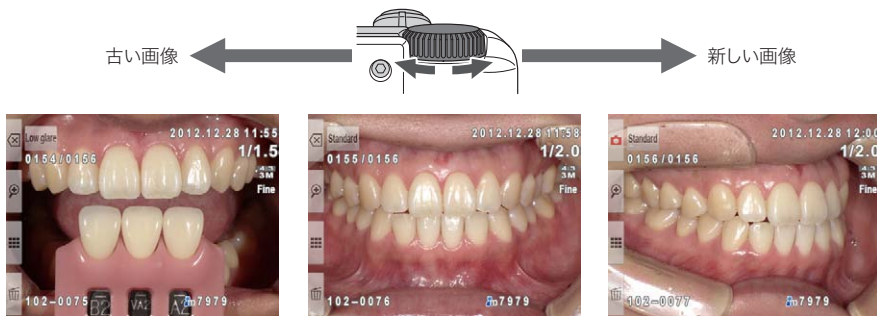
インデックス表示...

画像の消去...

再生モード

再生中の画像を切り替える

再生する画像を切り替えるには、 (ダイヤルキー) を回してください。



拡大・縮小する

- ・再生モード画面で  (F2 キー) を押すと、再生中の画像が拡大表示されます。最大6倍まで拡大できます。拡大表示した画像を縮小するときは、 (F3 キー) を押してください。また、通常の再生モード画面に戻るときは、 (F1 キー) を押してください。
- ・画面をスクロールさせるときは、画面の中心にしたい位置をタッチするか、画面に表示されている  マークをタッチしてください。



5

再生

インデックス画面 (一覧) で見る

再生モード画面で  (F3 キー) を押すと、最大9枚の画像が表示されるインデックス表示に切り替わります。1枚の表示に戻りたいときは、表示したい画像を選択して  (SET キー) を押すか、直接タッチしてください。



画像を消去する

再生中の画像を消去する

再生モード画面で **画** (F4キー) を押すと、再生中の画像を消去できます。右の確認画面で「OK」をタッチすると消去されます。



インデックス画面から画像を消去する

インデックス画面からも画像を消去できます。インデックス画面で **画** (F4キー) を押すと、右のメニューが表示されます。



●この画像を消去

インデックス画面で選択した画像が消去されます。

●画像を指定して消去

指定した画像が消去されます。消去する画像をタッチまたは **SET** (SET キー) で選択し、**OK** (F4 キー) を押すと、消去の確認画面が表示されます。



選択確定

ゴミ箱マーク
選択された画像に表示されます。

●全ての画像を消去

SDカード内のすべての画像が消去されます。

 **注記** 消去した画像は復帰できません。

画像を編集する

撮影した画像に線を描いたり、画像の向きを回転させたりすることができます。再生モード画面で  (MENUキー) を押すと、右のメニューが表示されます。

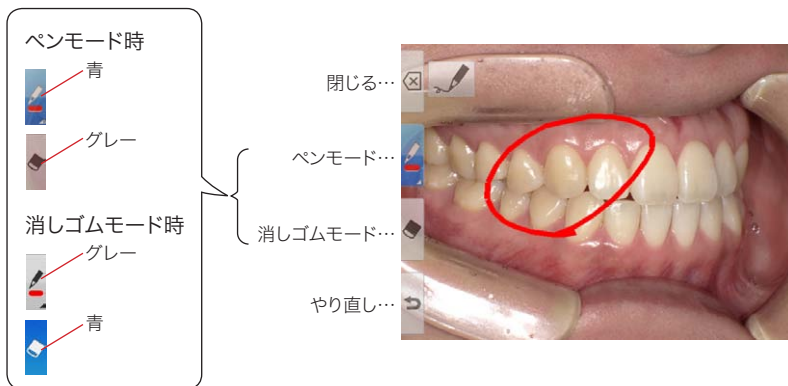


5

再生

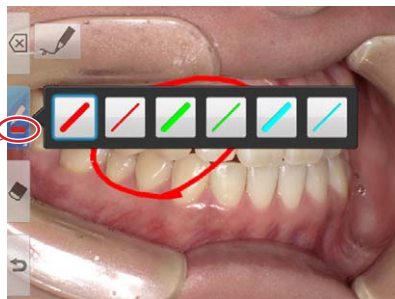
画像に線を描く(ペイント機能)

「ペイント」を選択すると、画像に線を描き込めます。 (F2キー) で線を描き込む「ペンモード」、 (F3キー) で描き込んだ線を消す「消しゴムモード」に切り替わります。



- ・ (F4キー) をタッチすると、直前の操作を取り消すことができます。(最大5回分まで)
- ・ペンモードで  (F2キー) を押すと、線の種類を選ぶことができます。

選択している線の種類



線を描き込んだ画像を保存するときは、 (F1キー) を押してください。右のメニューで「保存」を選択すると、線が描き込まれた画像が新しい画像として保存されます。なお、オリジナル画像はそのまま保存されています。

新しい画像として保存しますか？

保存

破棄

編集に戻る



ペイント機能で新規に保存される画像は、「640×480ピクセル」になります。

画像を回転する

「画像の回転」を選択すると、画像を90度ずつ回転させることができます。

- ・ (F2キー) で時計方向に、 (F3キー) で反時計方向に回転します。
- ・回転させた画像を保存するときは、 (F1キー) を押してください。表示されたメニューで「保存」を選択すると、回転した画像が上書き保存されます。

時計方向に90°回転



反時計方向に90°回転



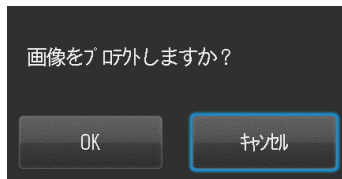
本器では、画像の回転情報をExif情報に書き込むことによって画像を回転させています。本器で回転させた画像を、WindowsXP付属のWindows Picture and Fax ViewerなどのExif回転情報に対応していないソフトウェアで表示させると、Exif情報を検出できず回転しません。これはソフトウェアの仕様によるもので、故障や異常ではありません。

画像をプロテクトする

「プロテクト」を選択すると、撮影した画像を保護し、誤った消去や編集を防ぐことができます。

再生中の画像をプロテクトする

再生モード画面で、 (MENUキー) を押し、「プロテクト」を選ぶと再生中の画像をプロテクトできます。右の確認画面で「OK」をタッチするとプロテクトが実行されます。



プロテクトを解除したい場合は、同じ作業をもう一度行なってください。

インデックス画面からプロテクトする

インデックス画面からも画像をプロテクトできます。インデックス画面でMENUキーを押し、「プロテクト」を選ぶと右のメニューが表示されます。



●この画像をプロテクト

インデックス画面で選択した画像に対してプロテクトを行います。

●画像を指定

指定した画像に対してプロテクトおよびプロテクト解除を行います。プロテクトしたい画像をタッチまたは **SET** (SETキー) を押すと、プロテクトマークが表示されます。プロテクトマークが付いた画像をもう一度タッチするとプロテクトマークが消えます。**F4** (F4キー) をタッチすると、プロテクトの確認画面が表示され、「OK」をタッチすると確定されます。



選択確定

プロテクトマーク
選択されたコマに表示されます。

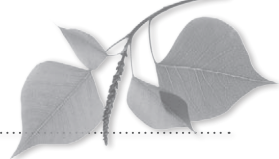
●全てをプロテクト

SDカード内の全ての画像がプロテクトされます。

●全てをプロテクト解除

SDカード内の全ての画像にかけられたプロテクトが解除されます。

6 撮影した画像をパソコンに取り込むには



本器で撮影した画像をパソコンに取り込むには、画像振り分けソフトウェアを使用する方法と、パソコン標準の機能を使用する方法があります。

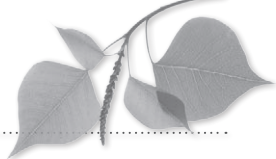
画像振り分けソフトウェアを使用すると、撮影時に入力した患者情報ごとに画像を自動的に振り分けてパソコンに取り込むことができます。

このソフトウェアは、当社ホームページからダウンロードしてお使いいただくことができます。詳しい情報については下記 URL をご参照ください。

<http://www.shofu.co.jp/eyespecial/>

また、パソコン標準の機能を使用して画像を取り込む方法については、パソコンに付属の説明書、または他の専門書をご参照ください。

7 各種メニューについて



本器には、撮影モードごとに撮影条件を設定できる「撮影モードメニュー」、再生中に使用する「再生モードメニュー」、基本的な環境を設定する「セットアップメニュー」の3つのメニューがあります。

撮影モードメニューについて

撮影モードメニューでは、フラッシュモードや明るさ補正など撮影に関する条件を、撮影モードごとに設定できます。

撮影モードで  (MENU キー) を押すと、撮影モードメニューが表示されます。

撮影モード

タブ
タッチすると表示される
項目が切り替わります。



項目	説明
タブ1	
フラッシュモード	フラッシュの発光モードを切り替えます。
明るさ補正	画像の明るさを調整します。
LED 照明	LED 照明の発光 ON / OFF や強度を切り替えます。
フォーカスモード	フォーカスモードを切り替えます。
フォーカス原点復帰	撮影後、フォーカス位置を原点位置に戻す機能の有無を切り替えます。
タブ2	
ダイヤル動作	撮影時にダイヤルキーで調整できる項目を「倍率」または「焦点距離」のどちらかに設定します。
オートトリミング	オートトリミング機能の有無を切り替えます。
フォーカシングスクリーン	画面に表示される構図合わせ用の格子の種類を切り替えます。
ISO 感度	ISO 感度を調整します。
AE モード	AE (露出) モードを切り替えます。
タブ3	
ホワイトバランス	画像のホワイトバランスを切り替えます。
色合い	画像の色合いを調整します。
コントラスト	画像のコントラストを調整します。
シャープネス	画像のシャープネスを調整します。
タブ4	
構図	カメラを通常(横向き)に構えた状態で、撮影される画像の構図を切り替えます。
ミラー反転	撮影後にミラー反転する処理の動作方法を設定します。
登録	現在の撮影モードで変更した設定を登録またはリセットします。

タブ1

●フラッシュモード

フラッシュの発光モードを切り替えます。



項目	説明
両側	両側のフラッシュが発光します。
右側	液晶画面側から見て、右側のフラッシュだけが発光します。
左側	液晶画面側から見て、左側のフラッシュだけが発光します。
Auto	撮影環境に合わせて自動的に発光のON/OFFを切り替えます。
OFF	フラッシュを発光させずに撮影します。

※撮影モードにより、選択できない項目があります。

●明るさ補正

画像の明るさを調整します。

「+」「-」をタッチするか、 (ダイヤルキー) を回すとスライダが移動します。確定する場合は「OK」をタッチするか、 (SETキー) を押してください。

- 1.0Ev ~ +1.0Ev の範囲で、1/3 ステップずつ選択できます。
(ミラーモードは -0.3Ev ~ +1.7Ev)



●LED照明

LED 照明の発光 ON/OFF や強度を切り替えます。

「+」「-」をタッチするか、 (ダイヤルキー) を回すとスライダが移動します。確定する場合は「OK」をタッチするか、 (SETキー) を押してください。

Auto・・・カメラが撮影環境に合わせて自動的に発光強度を調節します。

0~3・・・0 (発光無し) ~ 3 (最大強度の発光) を選択します。



●フォーカスモード

フォーカスモードを切り替えます。

本器では、2種類のオートフォーカスモード「AF標準」「AFスポット」とマニュアルフォーカスモード「MF」の計3種類のモードを切り替えることができます。



項目	説明
AF 標準	基本的なフォーカスモードです。フォーカスエリア内を統合的に判断してピントを合わせます。
AF スポット	特定のスポットに焦点を合わせるモードです。点線で囲まれたエリアの中をタッチすることで、スポットを移動させることができます。
MF	オートフォーカスを使わずに、固定された位置にピントが合うようになります。

●フォーカス原点復帰

撮影後、フォーカス位置を原点位置に戻す機能の有無を切り替えます。



項目	説明
あり	撮影ごとに、フォーカスは原点に戻ります。
なし	フォーカス位置は、前回撮影した状態のまま動きません。

タブ2

●ダイヤル動作

撮影時に  (ダイヤルキー) で調整できる項目を設定します。



項目	説明
倍率変更	撮影倍率を変更できるようにします。
焦点距離変更	焦点距離を変更できるようにします。

※焦点距離変更を選択しているときは、オートトリミング機能は使用できません。

焦点距離変更になると、右上の表示が下のようになります。



●オートトリミング

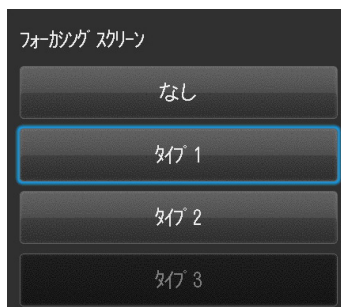
オートトリミング機能の有無を切り替えます。



項目	説明
あり	画像は、自動的に設定倍率にサイズ調整されて撮影されます。
なし	実際の撮影距離に応じた倍率で撮影されます。

●フォーカシングスクリーン

画面に表示される構図合わせ用の格子の種類を切り替えます。



項目	説明
なし	—
タイプ 1	
タイプ 2	
タイプ 3 (※)	

※Type3は顔貌モード専用です。選択した構図に応じて最適なラインが表示されます。

●ISO 感度

ISO 感度を調整します。



項目	説明
Auto	カメラが撮影環境に合わせて自動的に調整します。
100~400	ISO 感度の値を上げると、暗い環境でも明るく撮影することができます。しかし、画像のノイズが多くなります。

※ISO 感度はTTL 調光で撮影するモード（顔貌、テレマクロモード）のみ調整が可能です。FM 調光で撮影するモードでは100に固定されます。

●AE モード

AE（露出）モードを切り替えます。



項目	説明
フラッシュマチック	被写体との距離をカメラが計測し、その距離に応じてフラッシュ光量を調節することで露出を制御します。
中央重点測光	画面全体の中央部を重点に測光して露出を決定します。
スポット測光	画面中央部のみを測光して露出を決定します。
平均測光	画面全体から測光して露出を決定します。

※AE モードはTTL 調光で撮影するモード（顔貌、テレマクロモード）のみ変更が可能です。

タブ3

●ホワイトバランス

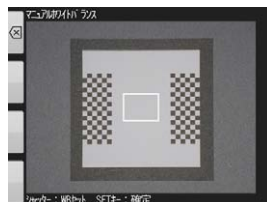
画像のホワイトバランスを切り替えます。



項目	説明
Auto	ホワイトバランスが自動で調整されます。
白熱電球	白熱電球の下での撮影を想定しています。
蛍光灯1	昼光色 (6500K) 蛍光灯の下での撮影を想定しています。
蛍光灯2	昼白色 (5000K) 蛍光灯の下での撮影を想定しています。
マニュアル	基準としたい白またはグレーの被写体を撮影し、ホワイトバランスを調整します。

※ホワイトバランスはTTL 調光で撮影するモード（顔貌、テレマクロモード）のみ変更が可能で、FM 調光で撮影するモードではAutoに固定されます。

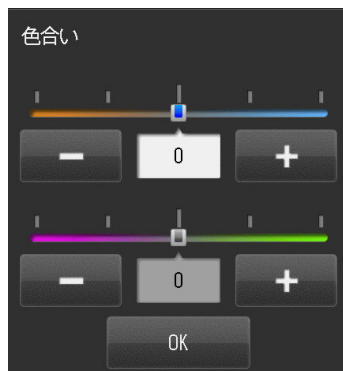
「マニュアル」を選択すると、右図の画面が表示されます。グレーカードなどのホワイトバランスの基準としたい被写体を、画面中央部の四角の枠の中に合わせてシャッターボタンを押してください。確定する場合は  (SET キー) を、キャンセルする場合は  (F1 キー) を押してください。



●色合い

画像の色合いを調整します。

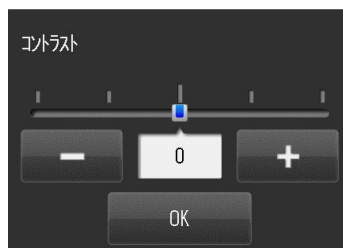
「+」「-」をタッチするか、▲ (F2 キー)、▼ (F3 キー) で移動させたいスライダを選択して (ダイヤルキー) を回すとスライダが移動します。確定する場合は「OK」をタッチするか、^{SET} (SET キー) を押してください。



●コントラスト

画像のコントラストを調整します。

「+」「-」をタッチするか、 (ダイヤルキー) を回すとスライダが移動します。確定する場合は「OK」をタッチするか、SET キーを押してください。



●シャープネス

画像のシャープネスを調整します。



タブ4

●構図

カメラを通常（横向き）に構えた状態で、撮影される画像の構図を切り替えます。



項目	説明
横構図	縦3：横4の構図で撮影されます。
縦構図	縦4：横3の構図で撮影されます。

撮影方向を「縦構図」にすると、図のように左右が黒く塗りつぶされて表示されます。



●ミラー反転

撮影後にミラー反転するかどうかの処理を選択します。



項目	説明
毎回確認	撮影ごとに、ダイアログ画面が表示されます。
上下反転	自動で上下にミラー反転して保存されます。
左右反転	自動で左右にミラー反転して保存されます。
反転しない	反転せずに、そのままの状態では保存されます。

●登録

現在の撮影モードで変更した設定を、登録またはリセットします。



項目	説明
リセット	現在の撮影モードで変更されている設定をすべて初期状態にリセットします。
上書き登録	変更した設定を現在の撮影モードに上書きして登録します。
カスタムに登録	変更した設定をカスタムモードとして登録します。

「カスタムに登録」を選択した場合、下図のように登録先を選択するダイアログが表示されますので、カスタム1～3の中から選択してください。



カスタム1～3に登録した設定は、撮影モードで  (F2キー) で呼び出して使用します。

 P.22 「カスタムモードから選ぶ」



ワンポイント

●カスタム登録設定の消去について

本器では、カスタム登録設定を個別に消去することはできません。

どうしてもカスタム登録設定を消去したい場合は、「設定値リセット」(→P.83)を実行してください。ただし、設定値リセットを行うと、カスタム登録設定の消去だけでなくカメラのすべての設定値がリセットされます。

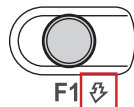
●カスタム登録設定の上書きについて

すでに登録済みの場所を再度登録先として選択すると、カスタム登録設定が上書きされます。

撮影モードメニューのショートカット操作について

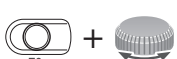
撮影モードメニューの設定項目のうち、次の4種類の設定はメニューを呼び出さなくても撮影モードのままで変更することができます。これをショートカット操作といいます。

ショートカット操作は、ファンクションキーを押しながら  (ダイヤルキー) を回転させることで行います。各ファンクションキーの下側に、ショートカットキー操作の対象となっている設定項目のアイコンが、青色で印字されています。



ファンクションキーを長押しすると、画面に表示された設定項目のアイコンの下に赤ラインが表示され、この状態で  (ダイヤルキー) を回すと設定が変わります。



操作	設定項目	画面上のアイコン
	フラッシュモードの切り替え	
	明るさ補正の調整	
	LED照明の切り替え	
	フォーカスモードの切り替え	



注記 ショートカット操作は必ずファンクションキーを押しながらダイヤルキーを回してください。ファンクションタブをタッチしながらダイヤルキーを回しても操作できません。

再生モードメニューについて

画像の編集（ペイント、画像の回転）およびプロテクトの設定を行います。

再生モードで  (MENUキー) を押すと、再生モードメニューが表示されます。

項目	説明
ペイント	画像に線を描き込みます。
画像の回転	画像を90°ずつ回転させます。
プロテクト	画像が消去・変更されないようにプロテクトを掛けます。

詳細は「画像を編集する」(P.55)を参照してください。

セットアップメニューについて

セットアップメニューでは、撮影される画像のサイズや操作音のON / OFFなど、カメラの基本的な設定を変更できます。

撮影モードメニューまたは再生モードメニューで  (F4キー) を押すと、セットアップメニューが表示されます。



撮影モードメニュー



再生モードメニュー



セットアップメニュー

項目	説明
タブ1	
画像サイズ	撮影される画像のサイズを選択します。
画質	撮影される画像の画質を選択します。
写し込み	撮影時の条件や日付などを画像の下に写し込む機能のON / OFFを切り替えます。
アフタービュー	撮影直後に、撮影した画像が表示される時間を選択します。
ミラー反転前の画像保存	ミラー反転を行うときに、反転前の画像を保存するかどうかを選択します。
タブ2	
モニター明るさ	液晶モニターの明るさを調整します。
日時設定	日時の表示形式と現在の日時を設定します。
言語 / Language	項目などの表示言語を切り替えます。
単位	距離の表示単位を切り替えます。
ビデオ出力	ビデオ出力形式を切り替えます。
タブ3	
プレビュー拡大リセット	プレビュー拡大状態を等倍表示に戻すタイミングを選択します。
ファイルNo. メモリー	ファイルNo. メモリー機能の有無を切り替えます。
リセット	ファイルNo. メモリー 「あり」のときに、続き番号をリセットします。
フォルダ形式	画像が保存されるフォルダ形式を切り替えます。
タブ4	
音量	音量を調整します。
操作音	キー操作などの操作音の有無を切り替えます。
シャッター音	シャッター音の有無を切り替えます。
AF 音	AF 合焦時に鳴る音の有無を切り替えます。
パワーセーブ	パワーセーブ状態に移るまでの待機時間を選択します。
タブ5	
設定値リセット	カメラの設定値を初期状態に戻します。
フラッシュキャリブレーション	フラッシュの発光量のキャリブレーションを行います。
タッチパネル調整	タッチパネル反応領域を調整します。
SD カードのフォーマット	SD カードをフォーマットします。

タブ1

●画像サイズ

撮影する画像のサイズを選択します。

縦横比はコンパクトデジタルカメラで一般的な4:3とデジタル一眼レフカメラで一般的な3:2から選択できます。

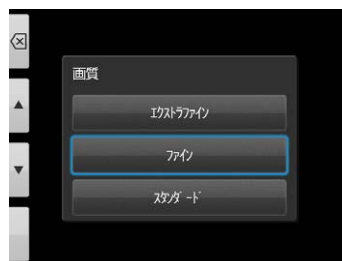


3:2サイズを選択すると、図のように画面上下が黒くなります。



●画質

撮影される画像の画質を選択します。



画質	圧縮率	用途
エクストラファイン	極小	画像加工、大伸ばしプリント
ファイン	小	通常プリント (L ~ 2L判程度) モニタでの閲覧用
スタンダード	中	WEBでの使用等



ワンポイント

圧縮率について

JPEG形式の画像データは、保存するときの圧縮率によってその品質が変わります。圧縮率を大きくするほどファイルサイズは小さくなりますが、画質は劣化します。また、いったん劣化した画質の品質を元に戻すことはできません。

通常の閲覧用画像の品質は「ファイン」で十分ですが、レタッチソフトウェアなどで画像を加工する場合、「エクストラファイン」で撮影してください。品質は気にせず、ファイルサイズを小さくしたい場合は「スタンダード」を選択してください。

●写し込み

撮影時の条件や日付などを画像の下に写し込む機能のON/OFFを切り替えます。



項目	説明
なし	画像には何も記入されません。
タイプ1	「患者ID」+「撮影日時」+「撮影条件（撮影倍率、撮影モード、フラッシュモード）」が書き込まれます。
タイプ2	「撮影日時」+「撮影条件」が書き込まれます。
タイプ3	「撮影日時」が書き込まれます。

●アフタービュー

撮影直後に、撮影した画像が表示される時間を選択します。



項目	説明
2秒、5秒、10秒	選択した秒数だけ、アフタービュー表示されます。
なし	アフタービューは表示されません。



- ・「なし」に設定した場合でも、撮影した画像が一瞬画面に表示されます。
- ・アフタービューによる画面の表示中に、シャッターボタンを半押しするか  (SET キー) を押すと、すぐに撮影モード画面に戻ります。

●ミラー反転前の画像保存

ミラー反転を行うときに、反転前の画像を保存するかどうかを選択します。



項目	説明
する	ミラー反転前の画像も保存されます。
しない	ミラー反転処理後の画像のみが保存されます。



オリジナル画像か反転画像かは、再生モード時に画面に表示されるアイコンで判別できます。



ミラー反転処理されていないオリジナルの画像です。



ミラー反転処理されている画像です。

タブ2

●モニター明るさ

液晶モニターの明るさを調整します。



●日時設定

現在の日時と時刻を設定します。

ダイヤルキー回転
または
タッチで項目の移動

▲ F2 / ▼ F3 キーで
値の増減

年月日の表示形式

年/月/日

日/月/年

月/日/年

日時の設定

2013 / 06 / 15

23 : 52

OK

●言語 /Language

項目などの表示言語を切り替えます。

言語/Language/Sprache/Langue

日本語/JPN

English

Deutsch

Français

●単位

距離の表示単位を切り替えます。



焦点距離はmm表記のみです。

単位

cm, mm

ft, in

●ビデオ出力

ビデオ出力形式を切り替えます。



項目	説明
NTSC	日本、アメリカ、韓国等
PAL	ヨーロッパの多くの国々（フランスを除く）、オーストラリア、中国など

タブ3

●プレビュー拡大リセット

プレビュー拡大状態を等倍表示に戻すタイミングを選択します。



項目	説明
撮影ごと	一回の撮影ごとに等倍表示に戻します。
倍率変更時	撮影倍率を変更したときに、等倍表示に戻します。続けて同じ撮影倍率で撮影するときは、撮影後再び、選択したプレビュー拡大倍率に戻ります。
なし	撮影後、選択したプレビュー拡大倍率に戻ります。 ^{SET} (SETキー)を押してプレビュー拡大倍率を変更しないかぎり、等倍表示には戻りません。

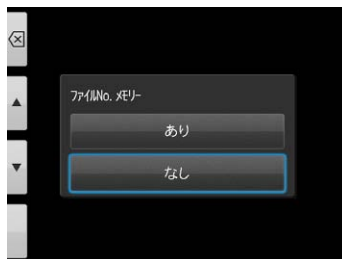


電源をOFFにするか、撮影モードを切り替えたときは、どの状態でも等倍表示に戻ります。

●ファイルNoメモリー

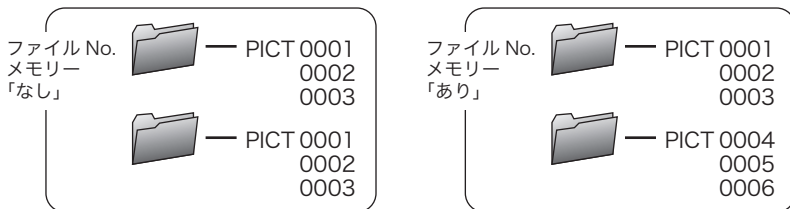
ファイルNo.メモリー機能の有無を切り替えます。

初期設定では、SDカードを交換したり、フォーマットしたり、SDカード内の画像をすべて消去したりすると、ファイル名は再び“PIC0001.JPG”から始まります。また、日付形式フォルダで日付が変わったときにも、ファイル名は再び“PIC0001.JPG”から始まります。これを続き番号にすることもできます。



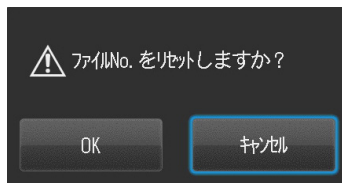
項目	説明
あり	ファイルNo.メモリーが機能します。全画面の消去、SDカードの交換やフォーマットを行っても、ファイル番号はそのまま続きます。
なし	ファイルNo.メモリーは機能しません。SDカードを交換したり、フォーマットしたり、SDカード内の画像をすべて消去したり、日付形式フォルダで日付が変わってフォルダが変わったりすると、ファイル番号は“PIC0001.JPG”に戻ります。同一フォルダ内にすでにファイルが存在する場合は、その続き番号から始まります。

イメージ図



●リセット

ファイルNo.メモリー「あり」のときに、続き番号をリセットします。

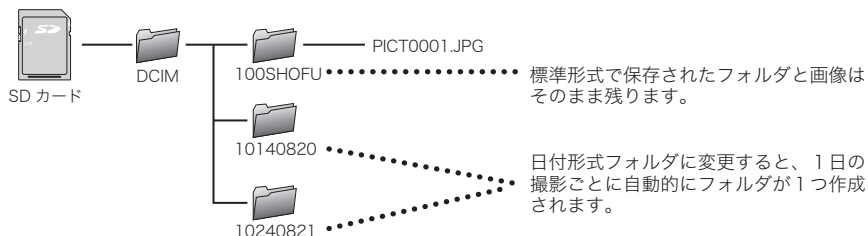


●フォルダ形式

画像が保存されるフォルダ形式を切り替えます。



標準形式	「フォルダ番号 (3桁) + SHOFU」という名前のフォルダが作られ画像が保存されます。 フォルダ番号は100から始まる3桁の数字です。 ひとつのフォルダには最大9999枚の画像が保存可能です。
日付形式	「フォルダ番号 (3桁) + 年月日 (5桁)」という名前のフォルダが作られ、その日に撮影された画像が保存されます。 フォルダ番号は100から始まる3桁の数字です。 年月日の書式は「西暦 (下1桁) + 月 (2桁) + 日 (2桁)」です。

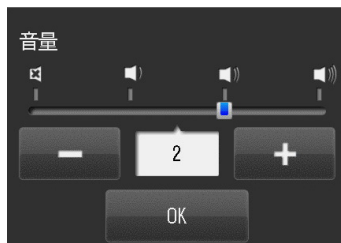


初期設定では、フォルダが変わるたびに中のファイル番号はPIC0001に戻ります。続き番号にするにはファイルNo.メモリーを「あり」に変更してください。(参照⇒P.80「ファイルNo.メモリー」)

タブ4

●音量

音量を調整します。



●操作音

キー操作などの操作音の有無を切り替えます。



●シャッター音

シャッター音の有無を切り替えます。



●AF音

AF 合焦時に鳴る音の有無を切り替えます。



●パワーセーブ

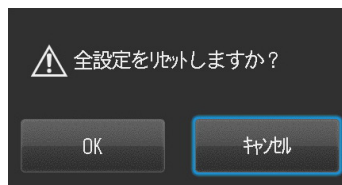
パワーセーブ状態に移るまでの待機時間を選択します。
初期設定では約1分以上何も操作をしなかった場合、モニターが消灯しパワーセーブ状態に移行します。このパワーセーブまでの時間を変更することができます。



タブ5

●設定値リセット

カメラの設定を初期状態に戻します。



●フラッシュキャリブレーション

フラッシュの発光量のキャリブレーションを行います。

撮影を重ねるとフラッシュの発光強度が低下したり色温度が微妙に変化したりします。本器では同梱されているグレーカードを撮影することで、フラッシュの発光強度およびホワイトバランスを調整します。キャリブレーション作業には、おおよそ10分間かかります。

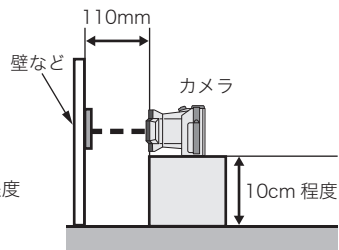
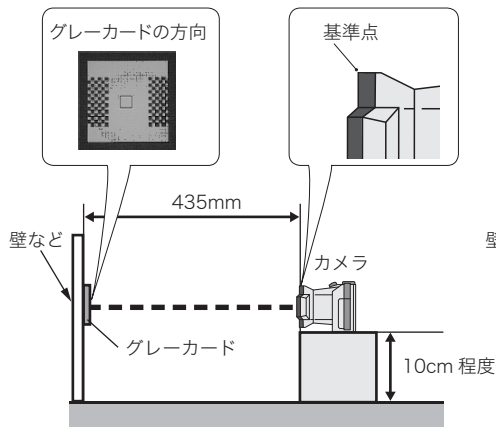
キャリブレーションに必要なもの

- ・ グレーカード (本製品に添付されています)
- ・ 定規 (50cm程度)
- ・ 10cm程度の高さのカメラを載せる台

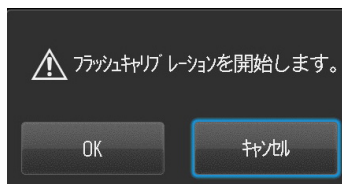
キャリブレーションを行うときは、下図のようにカメラとグレーカードを設置してください。

[内側フラッシュキャリブレーション時]

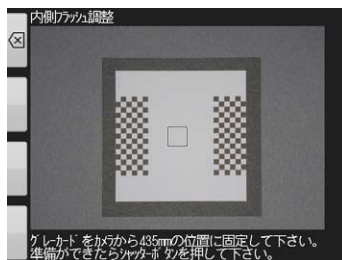
[外側フラッシュキャリブレーション時]



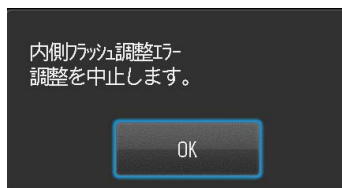
- 1 「フラッシュキャリブレーション」を選択すると、次のダイアログが表示されますので、良ければ「OK」をタッチしてください。



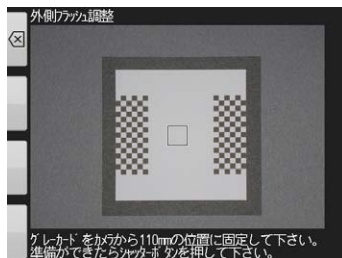
- 2 右図の画面が出たら、カメラとグレーカードとの距離を435mmに合わせ、グレーカードを画面中央に配置し、シャッターボタンを押し込んでください。



- 3 キャリブレーションの途中で右図の画面が出たら、カメラとグレーカードとの距離を確認し、もう一度、最初からキャリブレーションを行なってください。



- 4 内側フラッシュの調整が完了すると、右図のような画面が表示されます。カメラとグレーカードとの距離を110mmに変更し、グレーカードが画面中央にあることを確認したらシャッターボタンを押し込んでください。



- 5 キャリブレーションの途中で右図の画面が出たら、カメラとグレースカードとの距離を確認し、もう一度、最初からキャリブレーションを行なってください。

外側ファジィ調整エラー
調整を中止します。

OK

- 6 キャリブレーションが正常に完了すると右図の画面が表示されます。キャリブレーション結果を保存するには「OK」を押してください。「キャンセル」を押すとキャリブレーション結果は保存されずに元の状態に戻ります。

調整が完了しました。

OK

キャンセル



注記

- ・キャリブレーション動作中はカメラを動かしたりしないでください。
- ・半年に一回程度キャリブレーションを行うことをお勧めします。

●タッチパネル調整

タッチパネル反応領域を調整します。

タッチした位置と反応位置にずれを感じた場合には、タッチパネル調整を行なってください。図のような画面が表示されますので、順に表示される白丸を5箇所、数秒間長押ししてください。



参考

スタイラスなどの先の細いもの（鋭利なものや尖っているものは不可）で調整を行なってください。

画面に表示される●を数秒タッチしてください。

●SDカードのフォーマット

SDカードをフォーマットします。



注記

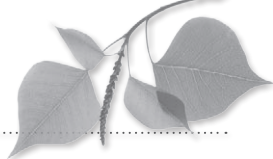
フォーマットを行うと、プロテクトをかけた画像も含め、すべての画像が消去されます。

⚠ カードをフォーマットしますか？

OK

キャンセル

8 取り扱い上の注意



使用温度について

- 本器の使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 直射日光の当たる車内など極度の高温下や、湿度の高い場所に放置しないでください。
- 本器に急激な温度変化が加わると、内部に水滴を生じることがあります。寒い屋外から暖かい室内に持ち込むときは、寒い屋外で本器をビニール袋などに入れ、袋の中の空気を絞り出して密閉したあと室内に持ち込み、周囲の温度に十分なじませてから取り出してください。

SDカードなどの記録メディアについて

- 下記の場合、記録されたデータが消去（破壊）されることがあります。データの消去について当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。大切なデータは、別のメディア（ハードディスクなど）にバックアップしておくことをおすすめします。
 1. お客様、または第三者がメディアの使い方を誤ったとき
 2. メディアが静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 3. メディアへのアクセス中（記録中、フォーマット中など）に、カードを取り出したり、機器の電源をOFFにしたりしたとき
 4. メディアの耐用回数を超えて書き換えを行なったとき
- メディアをフォーマット（初期化）すると、記録されているデータはすべて消去されます。必要なデータは必ずバックアップしてください。
- メディアには寿命があります。長期間で使用になるとデータの記録や再生ができなくなることがあります。このときは新しいメディアをお買い求めください。
- 強い静電気や電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管は避けてください。
- 曲げたり落したり、強い衝撃や高熱を加えたりしないでください。
- 強い静電気や強い衝撃によって記録メディアが破壊され、データの記録や再生ができなくなることがあります。このときは新しいメディアをお買い求めください。
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けて使用および保管してください。

液晶モニター（タッチパネル機能付き）について

- 液晶モニターは精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の白や黒、赤などの点が現れることがあります。これは故障や異常ではありませんのでご了承ください。なお、記録されている画像には影響ありません。
- 刃先のような鋭利な角や針状の先端で液晶モニターをこすったり、押しついたりしないでください。
- 寒い場所で使うと、初めは画面が通常より少し暗くなります。本器内部の温度が上がってくると、通常の明るさに戻ります。
- 液晶モニターに指紋などが付着して汚れたときは、乾いた柔らかい布で、傷などが付かないように軽くふいてください。

画像の変化について

- 通常の使用において、機器の劣化によって画像が変化することはほとんどありません。しかし、太陽光を直接撮影するなど、強烈な光がCCDに入射したときや、極端に撮影枚数が多いときなどは、画像に何らかの不具合が生じることがあります。そのようなときには、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

防水・耐薬品性について

- 本器は防水保護規格のIPX4等級に準拠した防水設計が施されています。水滴の飛沫がかかったり、消毒液（消毒用エタノール）を含んだガーゼなどで清掃を行なったりしても支障はありませんが、液中に水没させることは絶対に行わないでください。
- 濡れた手で電池やSDカードの出し入れを行わないでください。

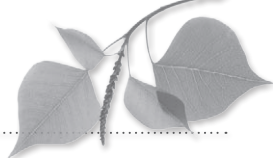
耐用期間について

- 本器は納入後、正規のご使用およびお手入れと保管を行なった場合に限り、耐用期間は5年とします。

その他

- 本器に強い衝撃を与えないでください。
- バッグなどに入れて持ち運ぶときは、本器の電源をOFFにしてください。
- 太陽を直接撮影したり、直射日光の当たる場所に放置したりしないでください。

9 お手入れと保管の仕方



●別紙「はじめにお読みください」の △警告 および △注意 を守ってください。

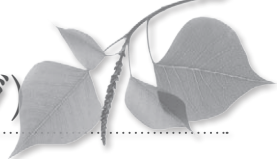
お手入れの仕方

- 本器の外側を清掃するときは、無色の市販消毒液（消毒用エタノール）で清拭してください。砂が付着したときは、こすらずにブロアーなどで軽く吹き飛ばしてください。
- レンズ面を清掃するときは、ブロアーブラシでほこりなどを取り除いてください。汚れがひどいときは、柔らかい布やレンズティッシュにレンズクリーナーを染み込ませ、レンズの中央から円を描くように軽くふいてください。レンズクリーナーを直接レンズ面にかけることは避けてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤を含むクリーナーは、絶対に使用しないでください。
- レンズ面に直接指で触れないでください。

保管の仕方

- 涼しく、乾燥し、風通しのよい、ほこりや化学薬品のない場所に保管してください。長期間保存するときは、密閉した容器に乾燥剤と一緒に入れると、より安全です。
- 長期間使用しないときは、本器から電池やSDカードを取り外してください。
- 防虫剤の入ったタンスなどに保管しないでください。
- 保管中も、ときどき本器を作動させてください。また、ご使用前には整備点検をおすすめします。

10 Q&A (トラブルシューティング)



トラブル

症状	原因	対策	参照
撮影できない、または再生できない。	電池が消耗している。	充電残量が十分にある電池を使用してください。	P.89
	自動電源OFFが作動した。	パワーセーブ状態になってからさらに30分間放置すると、自動的に電源がOFFになります。再度、本器の電源をONにしてください。	P.15
シャッターを半押ししてもピントが合わない。	フォーカスモードが「MF」（マニュアルフォーカス）になっている。	フォーカスモードを「AF標準」か「AFスボット」に切り替えてください。	P.29
	カメラと被写体との距離が撮影可能範囲よりも近すぎる／遠すぎる。	撮影可能な範囲内で撮影してください。	P.26
カードを挿入したのに、「カードが入っていません」と表示される。	カードが壊れている。	新しいカードに交換してください。	-
撮影した画像が明るすぎる、または暗すぎる。または、ピントが合っていない。	シャッターを半押ししてピントを合わせてから、本器が前後してしまい、その状態で撮影した。	シャッターを半押ししてピントを合わせてから、本器を前後させないでください。本器が動いてピントがずれた場合、いったんシャッターから指を離して、再度ピントを合わせてください。	P.28
撮影した画像の色がおかしい。（パソコンでの再生時、プリンターでの印刷時）	モニターの設定が最適でないことがあります。本器で撮影した画像は、sRGBの環境で見たときに最適に再現されるよう設計されています。sRGBで規定されている色温度は約6,500K、ガンマ値は「2.2」です。	詳しくはカラーマッチングに関する専門書をご参照ください。	-
電源を入れても、画面には何も表示されず赤いパイロットランプが点灯してフリーズする。	電池が消耗した場合にこのような状態になることがまれにあります。	電池を新しいものに交換してください。	-
本器が正常に動作しない。	本器の電源をOFFにしてから、いったん電池を取り出し、再度電源をONにしてください。それでも正常に動作しないときは本器の故障の可能性がありますので、お買い求めの販売店にご相談ください。		P.13

メッセージ表示

メッセージ	原因	対策	参照
電池がなくなりました。	電池残量がない。	電池を交換してください。	P.10
撮影距離エラー	撮影可能な距離から大きく離れている。	画面に表示される撮影可能な距離内で撮影してください。	P.26
カードが入っていません。	SDカードが取り付けられていない。	SDカードを取り付けてください。	P.11
表示できないサイズの画像です。	サイズが大きすぎる画像を再生しようとしました。	本器に対応していないサイズの画像は再生できません。	P.74
表示できない形式の画像です。	JPEG形式以外の画像を表示しようとした。	JPEG形式以外の画像は、本器では再生できません。	-

メッセージ	原因	対策	参照
カードに空きがありません。	SDカードの容量がいっぱいになっている。	画像サイズ、または画質を変更してください。	P.12
		不要な画像を消去してください。	P.54
		空き容量のあるSDカードに交換してください。	P.11
画像ファイル数の上限です。	SDカード内にある画像ファイル数が多すぎる。 本器で管理可能な画像ファイルはカードあたり約65,000枚です。	不要な画像を消去してください。	P.54
		空き容量のあるSDカードに交換してください。	P.11
カードがロックされています。	SDカードが書き込み禁止になっている。	SDカードのライトプロテクトスイッチを、上にスライドさせてください。	P.12
画像がありません。	画像が記録されていないSDカードを取り付けて、再生モードにした。	画像が記録されているSDカードを取り付けるか、撮影して画像を保存してください。	P.11
ファイルが壊れています。	再生しようとした画像ファイルが破損している。	不備のあるJPEG画像などは再生できません。	P.86
このカードは使えません。	SDXCカードを取り付けた。	本器で使用可能なカードはSDカードおよびSDHCカードです。	P.11
	以下の要因が考えられます。 ・パソコンでフォーマットし、ファイルシステムが変更された。 ・他のSDカード機器でフォーマットした。 液晶モニターに表示される指示に従って、本器でSDカードをフォーマットしてください。なお、フォーマットするとSDカード内のデータはすべて消去されますので、必要なファイルはあらかじめパソコンにコピーしておいてください。 また、SDカード自体の不具合の可能性もありますので、他のSDカードをお持ちのときは、カードを代えてお試しください。		P.86
ファイルシステムエラーです。	SDカードのシステムエラーが検知された。	本器でSDカードをフォーマットしてください。また、SDカード自体の不具合の可能性もありますので、他のSDカードをお持ちのときは、カードを代えてお試しください。	P.85
調整範囲外です。	マニュアルWB撮影において調整範囲外の値が検知された。	付属のグレーカード以外を使用してマニュアルホワイトバランスを調整しようとした場合に表示されることがあります。付属のグレーカードを使用してください。	P.83

よくあるご質問

Q (ご質問)	A (回答)
電池はどれくらい使用できますか？	ワンポイント「撮影可能枚数の目安」(P.12)を参照してください。
液晶モニターに表示される撮影可能枚数表示が、減らなかつたり一度に2コマ減ったりしますが、どうしてですか？	本器では、JPEG方式に準じた画像圧縮を行なって記録しています。JPEG方式の特徴として、撮影された画像によって圧縮後のデータサイズが変動します。したがって、撮影可能枚数が1枚ずつ減らないことがありますが、故障ではありません。
以前に撮影した画像を再生できません。どうすればいいですか？	以下のことが考えられますので、ご確認ください。 ・SDカード内のフォルダ構成やファイル名称が変更されていると、本器で再生できなくなることがあります。元の状態に戻してお試しください。 ・パソコン上で加工し、保存し直した画像ファイルは、本器で再生できなくなることがあります。これらの画像を本器で再生できるように戻すことはできません。
本器を使用できる温度・湿度はどれくらいですか？	温度は0℃～40℃、湿度は10%～80%です。

11 仕様



項目		内容
センサ	種別	原色フィルター、カラー CCD
	サイズ	1/2.33inch
	総画素数	約 1,200 万画素 (4,164 × 3,050)
	最大有効画素数	約 1,200 万画素 (4000 × 3000)
	撮像感度範囲	ISO100 ~ 400
レンズ	焦点距離 (35mm 換算公称値)	50-175mm
	絞り設定範囲	3.4-8.6
	ズーム方式	電動光学ズーム+電子ズーム
	LPF/IRカットフィルタ	LPF (405 ~ 664nm)、AR / IRカット、UVカット有り
AF	方式	コントラスト AF
	AF エリア	中央重点 / スポット
	フォーカスモード	ワンショット AF 及び距離指定による MF
	補助光	白色 LED 内側 4 灯リング照明による
AE	方式	TTL 測光 / FM 調光
	AE エリア	中央重点 / SPOT / 平均
	シャッター方式	電子シャッター、メカシャッター併用
	シャッター速度範囲	1/15 ~ 1/1000 自動切り替え
WB	モード種類	オート / 歯科専用 / 晴天 / 蛍光灯 / フラッシュ / カスタム
撮影モード	種類	標準 / オペ / ミラー / 顔貌 / 低反射 / ホワイトニング / テレマクロ / シェード抽出
フラッシュ	方式	内側 2 灯 / 外側 2 灯 計 4 灯
	フラッシュ同調速度	FM 調光時の 1/1000、顔貌モード時の 1/60 で同調
	フラッシュ調光	FM 調光及びセンサによる AUTO 調光
	外部フラッシュ端子	なし
	発光量校正	セットアップモードから実行
LED	方式	照明用白色 LED4 灯
	照明発光モード	0 (OFF) / OFF / ON / AUTO
ファインダー	ファインダー形式	・ファインダーなし ・3.5inchVGA (640*480) サイズLCD 表示のみ ・NTSC / PAL によるムービー出力可能
	電子マニファイヤー機能	なし / 全画面 x2 / 全画面 x4
	フォーカシングスクリーン	Type1 / Type2 / Type3 / なし
	LCD 表示フレームレート	30fps
記録部	記録媒体	SD / SDHC カード (Max. 32GB)

項目		内容
画面表示／再生モード	記録画像形式	JPEG
	SDカード保存フォルダ形式	DCF規格準拠(標準／日付)
	記録画素数	12M 4,000x3,000
		8M 3,264x2,448
		5M 2,560x1,920
		3.2M 2,080x1,560
		2M 1,600x1,200
		VGA 640x480
		10.6M 4,000x2,672
		7.1M 3,264x2,176
		4.3M 2,560x1,712
		2.8M 2,080x1,392
	画質モード	エクストラファイン／ファイン／スタンダード
画面表示／再生モード	デジタルズーム	焦点距離変更モード時光学ズーム最大地点からx2まで動作(x1.05[1/0.95]からx2[1/0.5]まで10Step)
	Exif Tag 情報	Exif2.21 + DCFの規格に準拠
	データ写し込み機能	・年月日時＋撮影条件＋患者情報 ・年月日時＋撮影条件 ・年月日時
	再生拡大倍率	インデックス(9枚)、x1～x6
	AfterView	なし／2秒／5秒／10秒
動作環境	対応言語	日本語、英語、ドイツ語、フランス語
	日付表示	yy/mm/dd、mm/dd/yy、dd/mm/yy
	単位	cm、mm / in、ft
	画像回転、反転機能	Exifタグによる90°ごとの回転
	データ消去機能	1コマ／選択コマ／全コマ削除
外部I/O	使用電池	単三型アルカリ乾電池4本または単三型ニッケル水素充電電池4本
	内蔵時計用電池	SR44(ユーザーによる変換不可)
	外部電源	なし
	質量	465g(付属品類を除く)
	動作温湿度範囲	0～40℃、10～80%(結露なきこと)
	保存温湿度範囲	-10～60℃、10～90%
	防滴性能	IPX4準拠
	耐薬品性	消毒用エタノール
外部I/O	三脚座	あり
	ホットシュー	なし
	リモートリリース端子	なし
	カードスロット	SD/SDHC対応
	PC接続端子	なし
	ビデオ出力端子	あり(映像出力のみ)
	音声入力	なし
	音声出力	内蔵スピーカー

12 付属品



名称	数量	備考
カメラ本体	1	-
レンズキャップ	1	カメラ本体に取り付け済み
ストラップ	1	-
アルカリ単3形乾電池	4	-
ビデオケーブル	1	-
SDHCカード	1	4GB
グレーカード	1	-
クローズアップレンズ	1	ACクローズアップNo.5、口径49mm
はじめにお読みください	1	-
取扱説明書	1	-
かんたんガイド	1	-
保証書	1	-

13 保証について

本器は厳重な検査を経て出荷されておりますが、保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な状態において万一故障した場合には無償で修理いたします。詳しくは添付の保証書をご覧ください。ただし、アルカリ単3形乾電池、レンズキャップ、ストラップ、SDHCカード、グレーカードは消耗品のため、保証期間内であっても有償となります。

12

13

付属品／保証について



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

<http://www.shofu.co.jp>

本社●〒605-0983京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112(代)